Pioneer sound.vision.soul

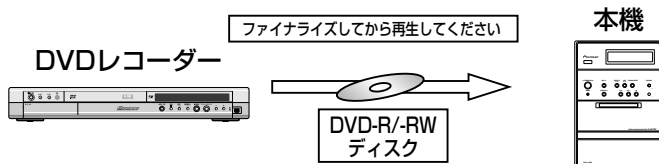
DVD/MD ミニコンポーネントシステム

X-HA7DV-W/-K

DVD ビデオのリージョン番号

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVDビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョン No. は「2」です。

再生できる DVD ビデオディスクのリージョン表示の例：   など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ

※DVDレコーダーでビデオモード記録したDVD-R/-RWディスクを本機で再生するときは、
ファイナライズ (録画終了処理) してください。

インターネットによるお客様登録のお願い

http://www.pioneer.co.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。

- **着脱式の電源コード(インレットタイプ)が付属している場合のご注意:**
  付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災·感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災·感電の原因となることがあります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災·感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災·感電の原因となります。

- 表示された電源電圧(交流100ボルト50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災·感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 製品に付属の電源コンセントには、そのパネルおよび取扱説明書に表示された容量を超える消費電力を持つ電気機器を接続しないでください。火災の原因となります。
  電熱器具、ヘアードライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また表示してある電力以内であっても、電源を入れた時に大電流の流れる機器などは接続しないでください。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- キャスター付きの場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

異常時の処置

● 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

● 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。

● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

● ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

● レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

● お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

● ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● 旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス(＋)マイナス(—)の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

● 電池は加熱したり分解したり、火や水の中にいれないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

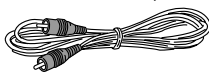
● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

付属品を確認する

- リモコン ×1

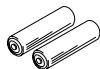
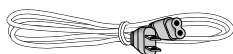
- 単３形乾電池 ×２
（AA/R6P）

- 電源コード(2 m)×1

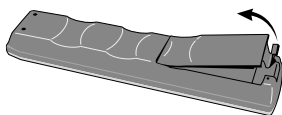
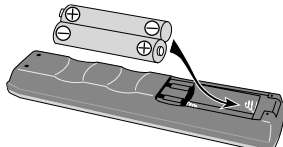
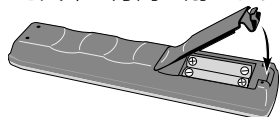
- ビデオコード(1.5 m)×1

- FM 簡易アンテナ (1.4 m)×1

- AM ループアンテナ ×1
（図は組み立てた状態です。）

- 滑り止めパッド*×1

* スピーカー部と一緒に梱包されています

- 保証書
- 取扱説明書（本書）
- 簡単ガイド

リモコンに電池を入れる

1. 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開きます。

2. ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れます。

3. 裏ブタを矢印の方向に閉めます。

注 意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。(電池に記載されている注意事項もあわせてご覧ください。)

◆ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 長い間（1 か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

もくじ

1 はじめに

2 再生

3 録音する

4 ラジオを聞く

5 ディスクの再生

6 MD を使う

7 いろいろな音色を楽しむ

8 画質調整

9 タイマーを使う

10 DVD の初期設定

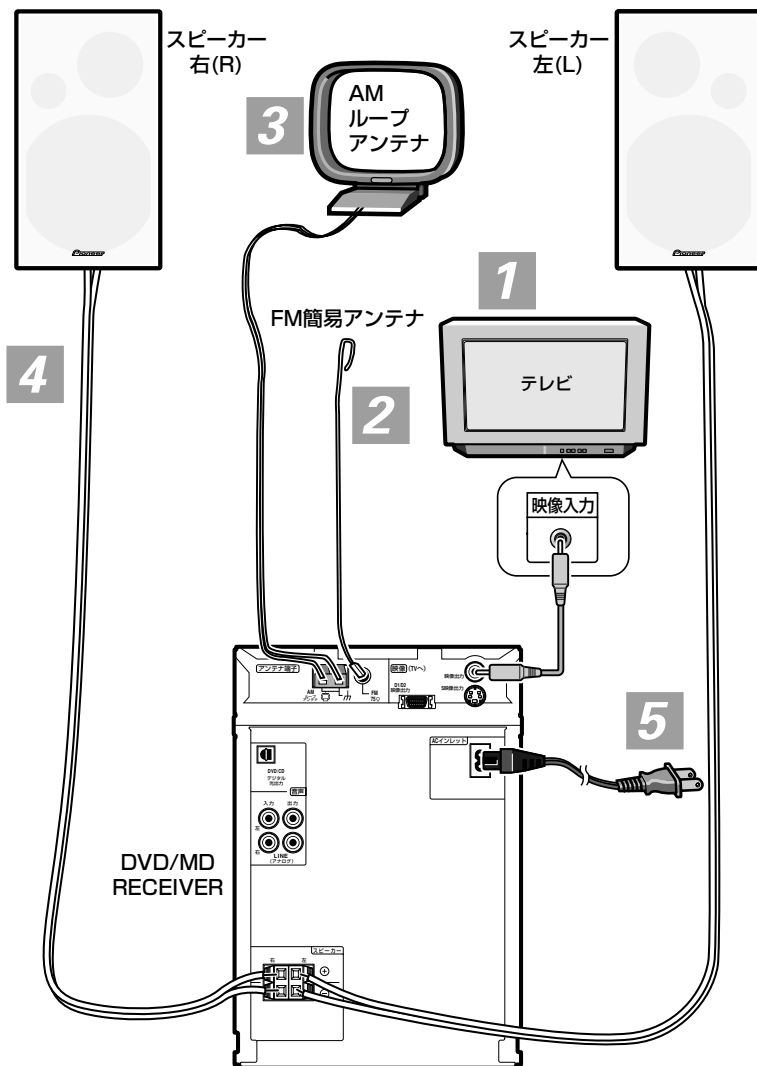
11 システムの設定

12 他機器の接続と設定

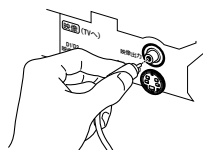
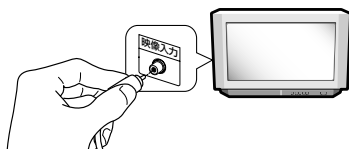
13 その他

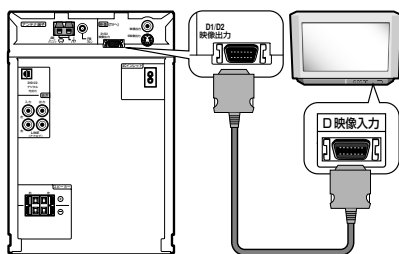
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

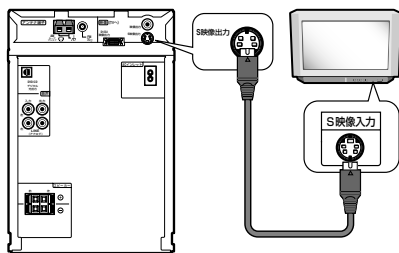
本機の接続を行う

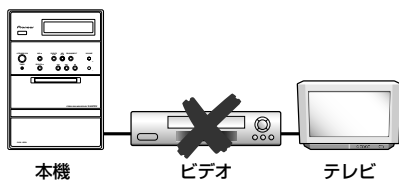
- アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないと FM/AM 放送が受信できません。
- 接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源コードを抜いてください。また、電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。
- 本機とテレビの接続を行うときは、必ずテレビの電源を切ってから接続してください。
- 本機に外部機器を接続する場合は、97 ～ 102 ページを参照してください。

> ⚠ **注意：**
> - 本スピーカーを本システム以外の製品で使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
> - 本スピーカー以外のスピーカーを本システムに接続する場合は、インピーダンスが 4Ω ～ 16Ω のものをご使用ください。

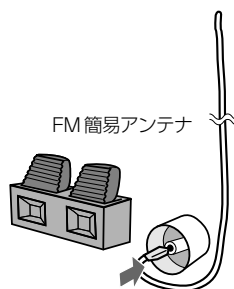
1 テレビと接続します

①付属のビデオコード（黄色のプラグ）を本機の映像出力端子に接続します。

②ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。

D 映像入力端子付きテレビの場合

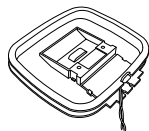
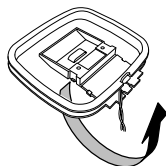
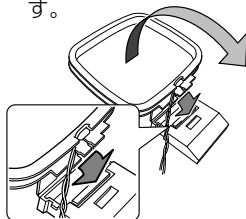
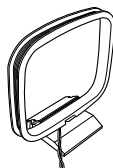
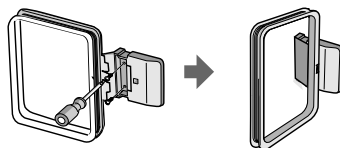
D映像入力端子を持っているテレビの場合、D1/D2端子を使うと、付属の映像ケーブルを使った映像入力端子への接続より、鮮明で高品位な映像を楽しむことができます。本機のD1/D2端子は、テレビのD1、D2、D3、D4のいずれの入力端子にも接続することができます。ただし、D1入力端子と接続したときは、インターレース出力のみとなります。
右図のように市販のD映像ケーブルで接続します。

S 映像入力端子付きテレビの場合

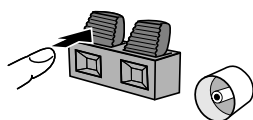
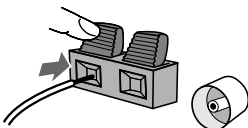
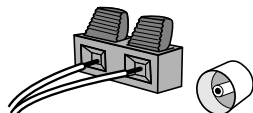
S映像入力端子を持っているテレビの場合、S端子を使うと、付属の映像ケーブルを使った映像入力端子への接続より、鮮明で高品位な映像を楽しむことができます。
右図のように市販のS映像ケーブルで接続します。

注 意

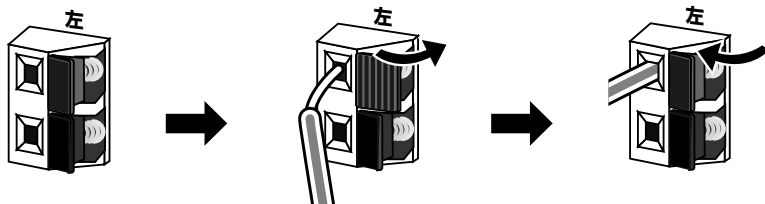
◆ **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

2 FM簡易アンテナを接続します

FM簡易アンテナは、中央のピンに差し込んで使用します。
またFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張っておきます。

3 AMループアンテナを組み立ててから接続します

組み立て

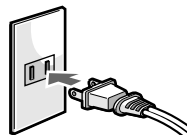
① **コードがねじれて巻かれている部分まで**をほどきます。

② 台を外側に出します。

③ 突起部を溝にはめ込みます。

④ 組み立ては完成です。

壁に取り付けるには....
ネジや画びょうなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。

接続

① 指でアンテナ端子のレバーを押します。

② コードの先端を端子に挿入し、端子のレバーを押さえていた指を離します。

③ もう一方のコードも同様に、端子に接続します。

スピーカーコードを接続します

① 本機のスピーカー端子（左）にスピーカーコードを接続します。
スピーカー端子のレバーを押してからスピーカーコードを差し込み、レバーを戻します。
被覆に灰色の線が入っているコードを赤い端子に、もう一方を黒い端子に接続してください。

② スピーカー端子（右）も上記と同様に接続します。

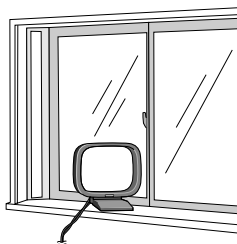
5 電源コードを本体と壁のコンセントへ差し込みます

①電源コードを本体のＡＣインレットに差し込みます。

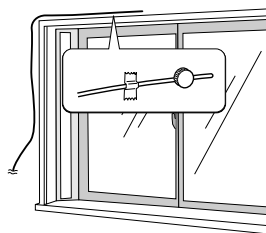
②電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
はじめて電源コードをコンセントにつないだ時はデモモードになります。詳しくは 25 ページをご覧ください。

アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：

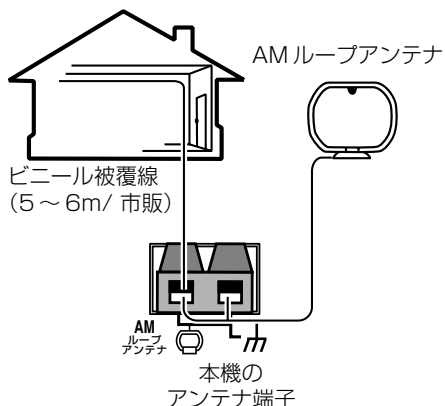
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。

- できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

FM 簡易アンテナ：

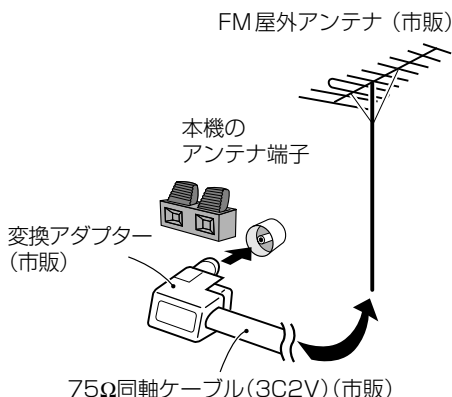
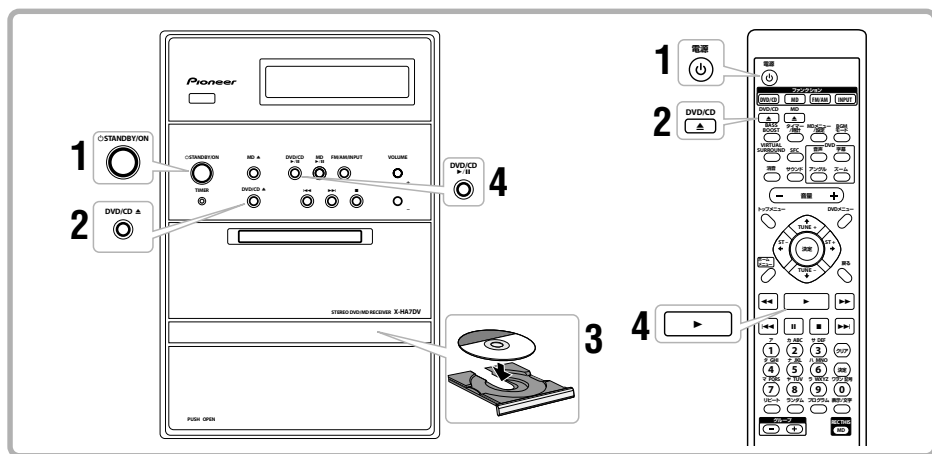
- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画びょうやテープで貼り付けます。

- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属アンテナでよく聞こえないとき

AM 外部アンテナをつなぐ

- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。

FM 屋外アンテナをつなぐ

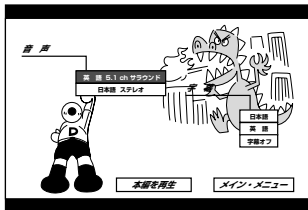
- 市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。

ディスクを再生する

あらかじめテレビの電源を入れて、テレビの入力を切り換えておいてください。

メモ

- ▼ ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始めるDVDもあります。

メニュー画面が表示されたら

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります。メニュー画面の内容や操作方法はDVDによって異なりますが、基本的な操作は以下のとおりです。

1. **リモコンの↑↓←→で選択して決定ボタンで決定します**

メモ

- ▼ 画面の上下に帯がつくDVDがあります。本機の故障ではありません。
- ▼ DVDのメニューによっては、リモコンの数字ボタンで番号を選んで再生できるものもあります。

止めたところから再生する（リジューム機能）

DVD-Video　Video CD　CD(R/RW)　DivX では、本体の表示窓に[Resume]と表示され、停止したところを記憶します。

■ボタンを押してディスクを停止するとその場所を記憶するので、次回は続きから再生を開始します(リジューム機能)。また、ディスクを取り出してもDVD5枚、ビデオCD1枚分の停止した場所を記憶しています(ラストメモリー機能)。次回、そのディスクを入れると、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。停止中に■ボタンをもう一回押すと、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除され、次に再生するときはディスクの最初から開始します。

メモ

- ▼ DVD-AUDIO　SACD では、リジューム機能が働きません。
- ▼ VR DVD-RW　DVD-AUDIO　SACD　CD(R/RW) では、ラストメモリー機能が働きません。
- ▼ ラストメモリー機能では、別のディスクを記憶すると前のディスクのメモリーが消去されます。
- ▼ ラストメモリーを記憶させたくない場合は、**■ボタン**を押さずに**▲ボタン**でディスクを停止して、取り出してください。
- ▼ リジューム機能は、ディスクを取り出すと解除されます。また、電源を切ったり、入力をDVD/CD以外に切り換えたときも解除されます。

電源を切る

1. 電源

本体の⏻STANDBY/ONボタンまたはリモコンの電源ボタンを押します

メ モ

▼ 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の[See you!]表示が消えていることを確認してください。[See you!]表示中に抜くと本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。

Q1:電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？（13ページ）

Q2:映像が映らない！

→ ビデオコード(黄)が正しくテレビに接続されていますか？（11 ページ）

→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

→ プログレッシブ対応していないテレビに接続しているときに**[プログレッシブ]**を選択していませんか？(表示窓の[PRGSVE] が点灯していませんか？)。89ページを参照して、**[インターレース]**に切り換えてください。

Q3:リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約 7m の範囲でのみ操作することができます。

→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください（20 ページ)。

→ 本機を蛍光灯の近くに設置していませんか？蛍光灯から離れた場所に設置してください。

Q4:ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。または、再生ができない！

→ ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていますか？

→ ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。

→ ディスクの表裏が正しくセットされていますか？

→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「**2**」と「**ALL**」のみです。(107、114ページ)

→ 本機の内部に結露が付いている可能性があります。結露を除去してください。(122ページ)

Q5：音が出ない！

→ ボリュームを上げてください。

・本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
・下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

DVD	DVDビデオ		DVDオーディオ	DVD-R	DVD-RW
ファイル/フォーマット	DVD-Video		DVD-AUDIO	DVD-Video	DVD-Video VR DVD-RW
CD	ビデオCD	SACD	CD	CD-R	CD-RW
ファイル/フォーマット	Video CD	SACD	CD(R/RW)	CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG DivX	CD(R/RW) WMA/MP3 JPEG DivX
F-Disc（エフディスク）	(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。				
フジカラーCD	FUJICOLOR CD COMPATIBLE		：このマークは、富士写真フイルム(株)の商標です。		
コダックピクチャーCD					

DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

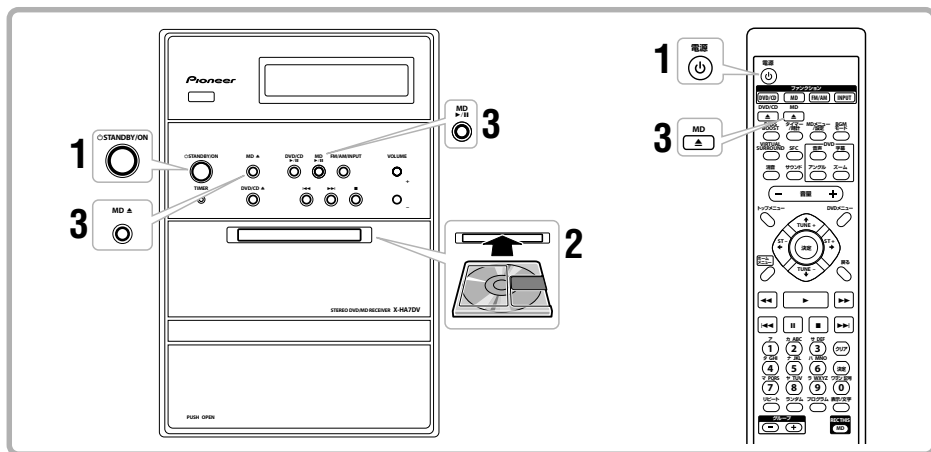
コピーコントロールCDについて
当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類
DVD-ROM、DVD-RAM、CD-G、リージョンNo.が「2」「ALL」以外のDVDビデオなど

本文中の表記について

この取扱説明書では、本文中に記号が記載されています。記号には次のような意味があります。

- DVD-Video 市販のDVDビデオ、またはビデオモードで記録されたDVD-R/RW
- DVD-AUDIO 市販のDVDオーディオ
- VR DVD-RW VRモードで記録されたDVD-RW
- Video CD ビデオCD
- SACD 市販のSACD（スーパーオーディオCD）
- CD(R/RW) 市販の音楽用CD、またはCDDAフォーマットで音楽が記録されたCD-R/RW
- WMA/MP3 WMAまたはMP3ファイルが記録されたCD-R/RW
- JPEG JPEGファイルが記録されたCD-R/RW
- DivX DivXファイルが記録されたCD-R/RW

MDを再生する

メ モ

▼ MDをセットするときは、ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。再生専用MDや誤消去防止用つまみが開いているMDを挿入すると、自動的に再生を開始します。

MDを取り出すには

1. MD ▲

MD▲ボタンを押して取り出します

または

MD

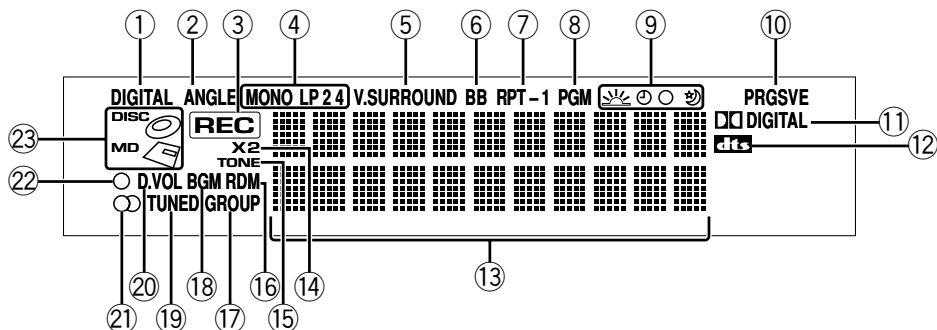
電源を切る

1. 電源

本体の⏻STANDBY/ONボタンまたはリモコンの電源ボタンを押す

メ モ

▼ 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の[See you!]表示が消えていることを確認してください。[See you!]表示中に抜くと本機の設定がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。

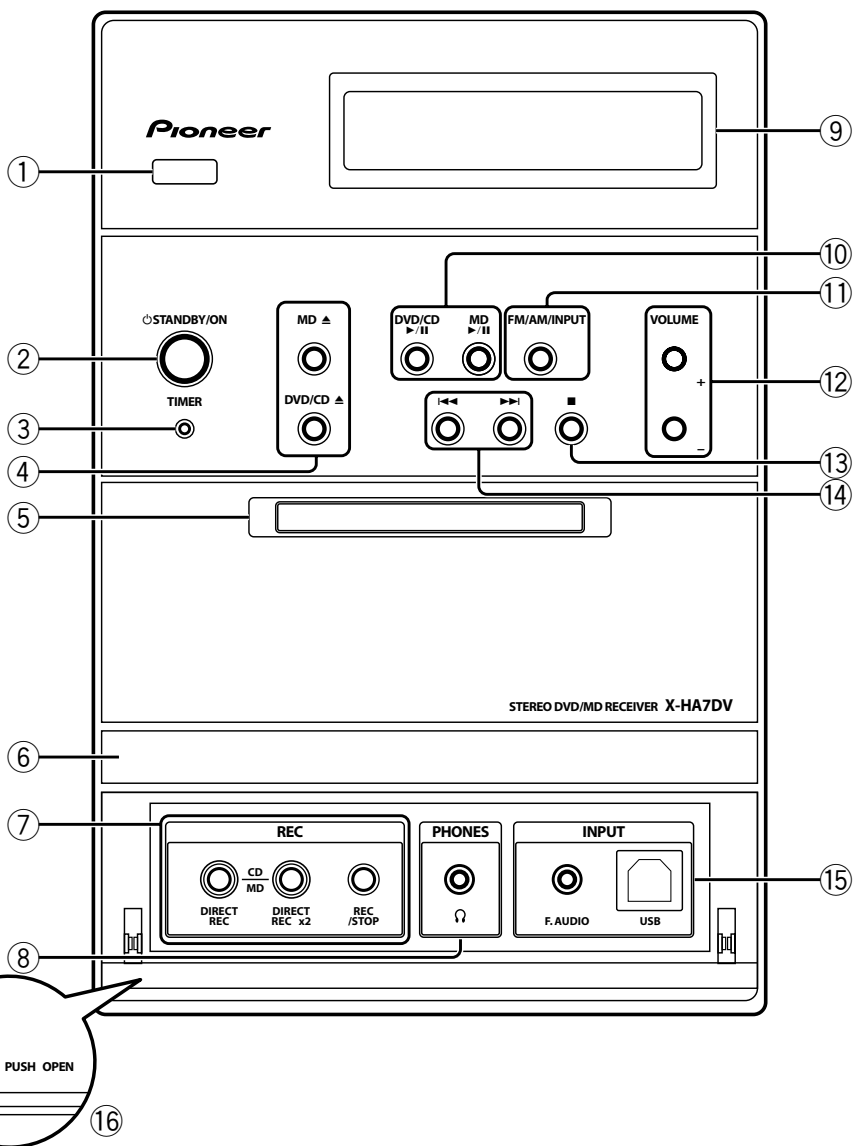
表示部

① 録音の設定で、デジタル録音が設定されていると点灯します。（111 ページ）
② DVD ソフトを再生中、アングルを変更できる場面で点灯します。（50 ページ）
③ 録音中に点灯します。
④ MDのステレオ長時間録音（LP2モード）設定時にLP2 と点灯します。
MDのステレオ長時間録音（LP4モード）設定時にLP4 と点灯します。
MD のモノラル長時間録音設定時に MONO LP と点灯します。
⑤ バーチャルサラウンドモードをオンに設定しているときに点灯します。（77 ページ）
⑥ BASS BOOST モードをオンに設定しているときに点灯します。（80 ページ）
⑦ 全曲リピート再生時には RPT と点灯し、1 曲リピート再生時は、RPT-1 と点灯します。（41、53 ページ）
⑧ プログラム設定時、または再生時に点灯します。（43、54 ページ）
⑨ — 目覚ましタイマー設定時に点灯します。また、目覚ましタイマー動作時に点滅します。（82 ページ）

— 目覚ましタイマー、タイマー録音設定時と動作時に点灯します。（82 ページ）

○ — タイマー録音設定時に点灯します。また、タイマー録音動作時に点滅します。（84 ページ）

— スリープタイマー設定時に点灯します。（86 ページ）

⑩ D2映像出力でプログレッシブが選択されているときに点灯します。（88 ページ）
⑪ ドルビーデジタル音声を再生しているときに点灯します。
⑫ DTS音声を再生しているときに点灯します。
⑬ 文字や数字を表示します。
⑭ 2 倍速録音中に点灯します。
⑮ 高音（Treble）や低音（Bass）の設定が0以外のときや、SFC/マナーモードなどをオンにしているときに点灯します。
⑯ ランダム再生時に点灯します。（42、53 ページ）
⑰ MDのグループ再生機能にて、グループプレイが設定されていると点灯します。（68 ページ）
⑱ BGM モード時に点灯します。（52 ページ）
⑲ FM/AM 放送受信時に点灯します。
⑳ デジタル録音レベルを 0dB 以外に設定すると点灯します。（57 ページ）
㉑ FM放送でステレオ受信しているときに点灯します。
㉒ FM放送の受信設定をモノラルに設定すると点灯します。（35 ページ）
㉓ 再生可能なディスクの挿入中に点灯します。

本体

液晶表示素子(LCD)について

本機で使用している液晶表示素子は、温度により色が変化する性質を持っています。室温の高い部屋や大音量で長時間動作させた場合に色調が灰色に変化することがありますが、温度が下がれば元に戻りますので安心してご使用ください。

① **リモコン受光部**

- 約7m以内の距離からここに向けて操作してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

② **⏻STANDBY/ONボタン**

押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部が消灯します。

③ **タイマーインジケーター**

目覚ましタイマー/タイマー録音が設定されていると点灯します。（電源オフ時のみ）

④ **MD⏏ボタン**

MDを取り出します。

DVD/CD⏏ボタン

ディスクテーブルを開閉します。

⑤ **MD挿入部**

⑥ **ディスクテーブル（15ページ）**

⑦ **ダイレクト録音ボタン(30, 55ページ)**

CDを簡単にMDへ録音します。
×2は2倍速で録音します。

REC/STOPボタン(56ページ)

MDの録音を開始したり停止したりします。

⑧ **ヘッドホン端子**

市販のヘッドホンを接続します。
インピーダンス16Ω〜50Ω（推奨32Ω）、直径3.5 Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

⑨ **表示窓**

⑩ **DVD/CD▶/❚❚ボタン**

ディスクを再生したり、一時停止します。

MD▶/❚❚ボタン

MDを再生したり、一時停止します。

⑪ **FM/AM/INPUTボタン**

押すたびに入力が切り換わります。下記の入力が表示窓に表示されます。

Tuner/ST

FM・AM放送を聞くときに合わせます。

F. Audio In

本機のF. AUDIOに接続した外部機器の音を聞くときに合わせます。

Line

本機のLINE（アナログ）入力に接続した外部機器の音を聞くときに合わせます。

USB

本機のUSB端子に接続したPCの音を聞くときに合わせます。

⑫ **音量ボタン**

⑬ **■ボタン**

停止します。

⑭ **⏮ ⏭ ボタン**

タイトル/チャプター/トラックを頭出しします。

⑮ **F. AUDIO端子（97ページ）**

外部機器を接続するための入力端子です。

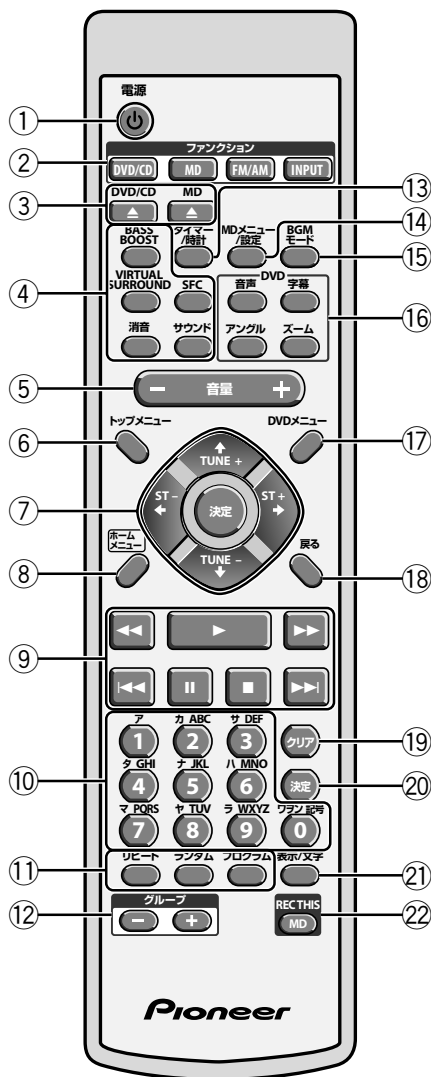
USB 端子（98 ページ）

USBケーブルでPCと接続できる入力端子です。

⑯ **フロントドア**

PUSH OPENを押すとドアが開きます。

リモコン

① 電源⏻ボタン

押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部が消灯します。

② ファンクションボタン

以下の4つのボタンを押すと、スタンバイ時でも電源がオンになります。また、ラジオ放送やディスクがセットされている場合は、再生を開始します。

DVD/CDボタン

DivX　SACD　DVD-AUDIO　を再生したり、一時停止します。

MDボタン

MD を再生したり、一時停止します。

FM/AMボタン

FM・AM 放送を聞いたり、記憶した放送局を呼び出すときに使用します。

INPUTボタン

本体後面部のLINE入力端子や前面部のF.AUDIO端子やUSB端子に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。

③ DVD/CD ⏏ ボタン

ディスクテーブルを開閉します。

MD ⏏ ボタン

MD を取り出します。

④ BASS BOOSTボタン

VIRTUAL SURROUNDボタン(77ページ)

SFC ボタン(79ページ)

消音ボタン

音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、消音する前の音量に戻ります。

サウンドボタン(79〜80ページ)

音質の設定を切り換えます。

⑤ **音量ボタン**

⑥ **トップメニューボタン**
DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

⑦ **⇧ ⇩ ⇦ ⇨/ 決定ボタン**
項目の選択や変更、またはDVDなどのメニューや設定画面で、カーソルを上下左右に移動します。
また、ラジオのステーションの選択や放送局のチューニングにも使用します。

⑧ **ホームメニューボタン**
ホームメニュー画面を表示します。もう一度押すともとの画面に戻ります。

⑨ **►ボタン**
再生するときに使用します。

■ ボタン
停止するときに使用します。

II ボタン
一時停止するときに使用します。

◄◄ ボタン
再生中に早戻しをします。

►► ボタン
再生中に早送りをします。

►►I ボタン
次のチャプター / トラックに送ります。

I◄◄ ボタン
再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

⑩ **文字/数字ボタン**
見たい / 聞きたいタイトル / チャプター / トラックを指定します。
また、文字を入力するときや、メニュー画面で項目を選択するときにも使用します。

⑪ **リピートボタン（41, 53ページ）**
ランダムボタン（42, 53ページ）
プログラムボタン（43, 54ページ）

⑫ **グループサーチボタン（71～73ページ）**
グループ登録されたMDのグループの頭出しをするときに使用します。

⑬ **タイマー/時計ボタン（26，82～86ページ）**
時計の時刻を合わせたり、目覚ましタイマーやタイマー録音を設定します。

⑭ **MDメニュー/設定ボタン**
各種設定に使用します。

⑮ **BGMモードボタン（52ページ）**
BGM モードを開始／停止します。

⑯ **音声ボタン（50ページ）**
言語、または音声を切り換えます。

字幕ボタン（49ページ）
DVDの字幕言語を切り換えます。

アングルボタン（50ページ）
DVDのアングルを切り換えます。

ズームボタン（49ページ）
映像を拡大します。

⑰ **DVDメニューボタン**
DVDのメニュー画面を表示するときに使用します。また、WMA/MP3 JPEG VR DVD-RW Video CD DivX では、ディスクナビゲーター画面を表示するときに使用します。

⑱ **戻るボタン**
DVDの初期設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻ります。

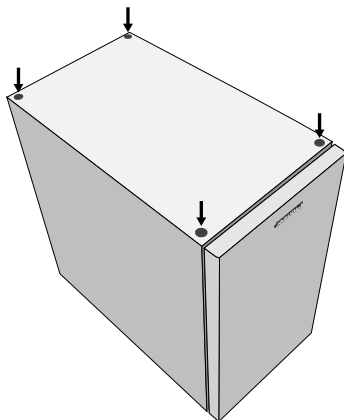
⑲ **クリアボタン**

⑳ **決定ボタン**

㉑ **表示/文字ボタン（51, 61ページ）**
表示の切り換え、文字入力時の文字の種類を切り換えます。

㉒ **MD REC THISボタン（33ページ）**
いま聞いている CD(R/RW) の曲を、MDに録音します。

スピーカーに滑り止めを貼る

左右のスピーカーの底面の角４箇所に付属の滑り止めパッドを貼り付けます。

スピーカーの設置

- 本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 左右に置いたスピーカーはテレビからは等距離になるように設置してください。
- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムですが、設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15分から30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラを発生するような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。近くに磁石磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- スピーカーを壁に掛けたり、天井に吊るしたりして使用しないでください。スピーカーが落下してケガをしたり、スピーカーを破損する原因となります。また、棚の上などの高い場所にも設置しないでください。本スピーカーシステムの前面グリルは取り外すことができるため、しっかりと取り付けられていないとグリルが外れて落ちたときにケガの原因になることがあります。

スピーカーグリルの着脱

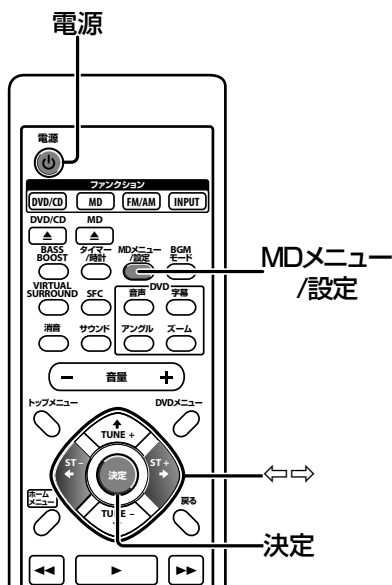
本スピーカーシステムは前面のグリルを取り外すことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。

1 グリルの下側を両手で持ち、手前に軽く引っぱってグリルの下側を外します。
2 同じように、グリルの上側を手前に引っぱり、グリルを本体から外します。
3 取り付けるときは、グリル上側および下側にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

注 意

◆ スピーカーを保護するため、グリルは外したままにしないでください。

デモ表示を解除する

電源コードをコンセントに差し込んだときなど、表示部にいろいろな表示を自動的に行うことを、デモ表示といいます。
お買い上げ時は、"Demo On"に設定されています。

Q&A

Q：デモ表示をしない！
→　26ページで時刻を設定すると、オートデモ表示を行いません。

一時的にデモ表示を解除するには

リモコンや本体のいずれかのボタンを押します

デモ表示を一時的に解除します。この場合は、以下のときに再びデモ表示を行います。

- 電源プラグをコンセントに差し込んだとき
- DVD、CD、MDの再生や録音が終了して5分以上何も操作をしないとき（オートデモ）
- 停電したあと

デモ表示をしないように設定するには

1. 電源

電源 ⏻ ボタンを押して電源をオフにします

2. MDメニュー/設定

MDメニュー/設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨で"Demo Mode"にしてから、決定ボタンを押します

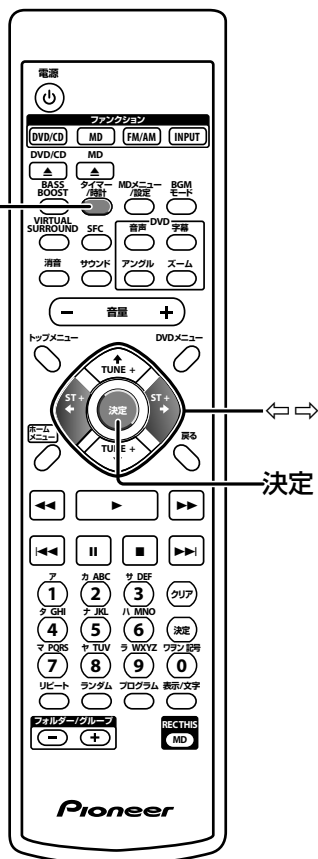
Demo Mode

4.

⇦ ⇨で"Demo Off"にしてから、決定ボタンを押します

再びデモ表示を設定する場合は、"Demo On"にしてから決定ボタンを押します。

注 意

◆ デモ表示を解除した場合でも、電源コードを抜いたり停電した状態が長時間続くと、再度電源コードをコンセントに差したり通電が再開したときに、デモ表示をする場合があります。

お買い上げ時の時計表示は、12時間表示です。時計を合わせていないと、タイマー動作（82～86ページ参照）を行うことはできません。
また、時計表示を24時間表示に切り換えることもできます。（96ページ参照）

例）　午後6時40分に合わせる場合

1. リモコンのタイマー / 時計ボタンを押します

すでに時計を設定している場合は、時計表示中にもう一度タイマー/時計ボタンを押してください。

2. ⇦ ⇨で "Clock Adj." を選んでから、決定ボタンを押します

Clock Adj.

3. ⇦ ⇨で「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"6 pm" にします。

6 : 00 pm

4. ⇦ ⇨で「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

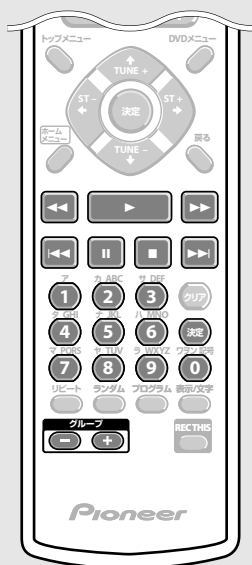
例の場合は、"40" にします。

6 : 40 pm

「分」が入力され、時計の設定が終了しました。

時計を確認するには

タイマー / 時計ボタンを押します

時計を5秒間表示します。
電源がオフ（スタンバイ状態）の場合でも、表示部が点灯して、5秒間時計の表示をします。
停電したり、電源コードを抜くと、時計を確認することができません。必ず時計合わせを行ってください。

再生

▶ **再生します**

- Video CD では、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については 15 ページをご覧ください。
- DivX と WMA/MP3 または JPEG が同じディスクに記録されているときは、まずはじめに、どのフォーマットを再生するかテレビ画面で選択します。

停止

■ **停止します**

一時停止

II **一時停止します**

- 通常の再生に戻すには、一時停止中に ▶、または **II ボタン**を押します。

頭出し（スキップ）

|◀◀ ▶▶| **再生中に ▶▶|（または |◀◀）ボタンを押します**

- 押した回数だけチャプター / トラックをスキップします。

早送り / 早戻し再生

再生中にリモコンの▶▶（または◀◀）ボタンを押します

- ボタンを押すたびに速さを切り換えることができます

  （DivXでは速さを切り換えることはできません）。
- 通常の再生に戻すには ▶**ボタン**を押します。

グループ指定再生

再生中にグループ+/−ボタンを押します

- グループ登録されたグループを１つ送ったり戻したりします。

ダイレクトサーチ

タイトル / チャプター / トラックを指定して再生することができます。

1 2 3 4 5 6 決定 7 8 9 0

数字（0～9）ボタンでタイトル / チャプター / トラック番号を入力して、決定ボタンを押します

再生中にできるダイレクトサーチの種類

DVD-Video	VR DVD-RW	DVD-AUDIO Video CD MD SACD CD(R/RW)
チャプターサーチ	タイトルサーチ	トラックサーチ

- ダイレクトサーチができないディスクもあります。
- DVD-Video のチャプターサーチでは、再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。
- ディスク停止中にダイレクトサーチを行うと、DVD-Video は**タイトルサーチ**に、DVD-AUDIO は**グループサーチ**になります。
- MD では次の場合、トラックサーチすることができません。
  - ランダム再生中
  - プログラム再生中

  また、グループ再生しているときは再生中のグループの中でのトラックサーチになります。

Q&A

Q1: Video CD CD(R/RW) が再生できない。

→ パソコンで作成された Video CD CD(R/RW) は再生できないことがあります。

Q2: WMA/MP3 が再生できない。

→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。
→ サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、または 48kHz で記録されていない WMA ファイルを再生している。
→ 可変ビットレート（VBR）またはロスレスエンコーディングの WMA ファイルを再生している。
→ DRM コピープロテクト（保護）のかかった WMA ファイルを再生している。

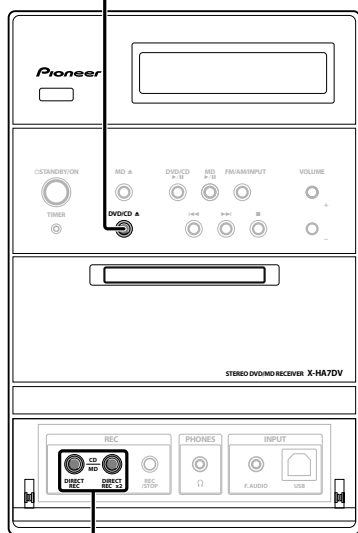
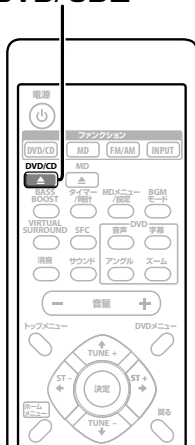
Q3: JPEG が再生できない。

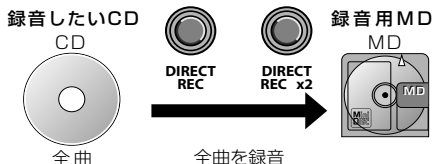
→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。
→ 総ピクセル数が3072 ×2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイルではない。
→ プログレッシブ JPEG ファイルは再生できません。

Q4: DivX が再生できない。

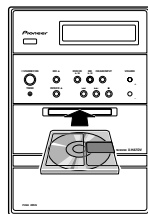
→ DivX®5、DivX®4、DivX®3、DivX®VODフォーマット以外のファイルは再生できません。

* DRM (Digital Rights Management) コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するため録音時に使用した PC などの機器以外での再生を制限する機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

2 倍速録音は、CD からのデジタル録音のみ可能です。

CDの全曲をまるごと録音する

ボタンをひとつ押すだけで、セットされているCD の全曲を自動的に録音します。
また、CD の好きな曲だけを MD に録音する場合は、55 ページを参照してください。

1. 録音もとのCDをセットします

DVD/CD▲ ボタンを押して、ディスクテーブルを開けてからディスクをセットします。

2. 録音用 MD をセットします

ラベルを上にして MD の矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

3. 通常録音をするときはCD-MDダイレクト録音ボタン（DIRECT REC）を、2倍速録音をするときはCD-MDダイレクト録音(2 倍速) ボタン(DIRECT REC ×2)を押します

DIRECT REC　DIRECT REC x2

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。録音を中止する場合は、■ **ボタン**または REC/STOP **ボタン**を押します。

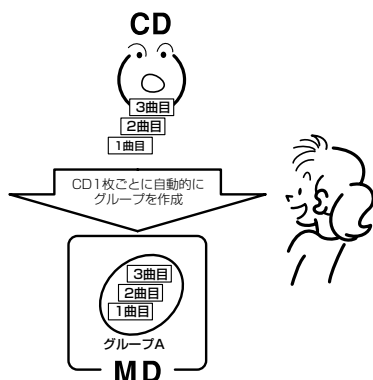
メ モ

▼ お買い上げ時は通常のステレオ録音に設定されています。LP2 または LP4 モード（32 ページ参照）に設定すると、より長時間録音ができます。
▼ セットしたディスクをまるごと録音すると、CD1枚ごとに自動でグループ登録 (68ページ参照) されます。

注 意

◆ CD(R/RW) 以外のディスクからはダイレクト録音ができません。マニュアル操作によるアナログ録音 (56ページ参照) となります。

Q&A

Q： **"Can't REC" と表示が出て録音できない！**
→ デジタル録音された CD-R/CD-RW を、デジタルでMDに録音することはできません。111ページを参照して、アナログ録音に切り換えてください。

2倍速録音での制限について

CD から MD へ 2 倍速録音を行った場合、録音を開始した時点から 74 分間は、同じ CD を 2 倍速で録音できないようになっています。これは、HCMS(Hi-speed Copy Management System)により管理されているためです。この間に禁止されているディスクを録音する場合は、通常の録音を行ってください。

HCMSにより管理されている74分の間に同じディスクを再び2倍速録音すると、以下の例のように禁止残り時間を表示します。禁止残り時間の間は、禁止されているディスクの2倍速録音は動作しません。

```
Can't  X2REC
 Wait  39min
```

注 意

◆ 2倍速録音の禁止時間内であっても、異なるディスクであれば合計40枚まで、2倍速録音を行うことができます。
◆ 2倍速録音時は、光出力からは何も出力されません。
◆ アナログ録音設定のとき、2倍速録音はできません。デジタル録音に切り換えてください (111 ページ参照)。
◆ 2倍速録音中、スピーカーからは2倍速で音楽が流れます。不快な場合は音量ボタンで音量を調節してください。

MD**LP**

長時間録音（MDLP）の設定をする

MD に録音する設定を、通常のステレオ録音の約２倍（LP2 モード）または４倍（LP4 モード）にすると、長時間ステレオ録音ができます（MDLP録音）。数枚のCDを一枚のMDに録音するときに便利です。
たとえば、80分のMDではLP2モードで160分、LP4モードで320分の長時間録音ができます。
ただし、LP2 または LP4 モードで録音された曲は、MDLP機能が搭載されていない機器では再生できません。
各録音モードの違いは以下の表のとおりです。

録音モード	ステレオ/モノラル	録音時間	音質
Stereo	ステレオ(通常のステレオ録音)	1倍	◎
MONO LP	モノラル	2倍	◎
LP2	ステレオ(MDLP)	2倍	○
LP4*	ステレオ(MDLP)	4倍	△

◎ ...... 最良の音質です
○ ...... ◎ の音質より劣ります
△ ...... ○ の音質より劣ります

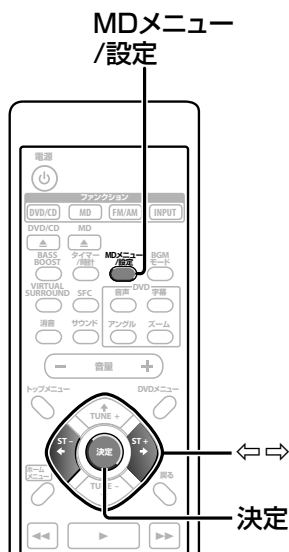
＊特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2 モードでの録音をお勧めします。

メ モ

- ▼ お買い上げ時の録音モードは、Stereo(通常のステレオ録音)に設定されています。
- ▼ 長時間録音の設定は、一度設定すると次に切り換えるまで変更されません。

1. 録音設定したい録音もとの入力を選びます

CD からの録音の場合は、**DVD/CDボタン**を押してから**■ボタン**を押します。

2. MD メニュー / 設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

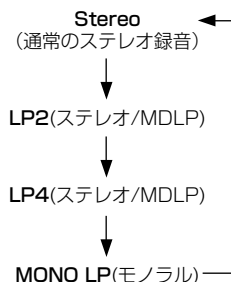
中止する場合は、■ボタンを押します。

4. ⇦ ⇨ で"REC Mode"を選んでから、決定ボタンを押します

REC Mode

中止する場合は、■ボタンを押します。

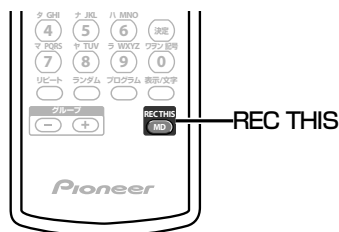
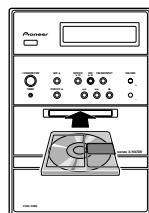
5. ⇦ ⇨ で録音のモードを選んでから、決定ボタンを押します

以下のように切り換わります。

LP2 モードを選んだときの表示

LP2

LP2 モードに設定した場合は、**LP2** が点灯します。
LP4 モードに設定した場合は、**LP4** が点灯します。
モノラル録音に設定した場合は、**MONO LP** が点灯します。

CD の 1 曲だけを録音する（いま聞いている曲を録音する）

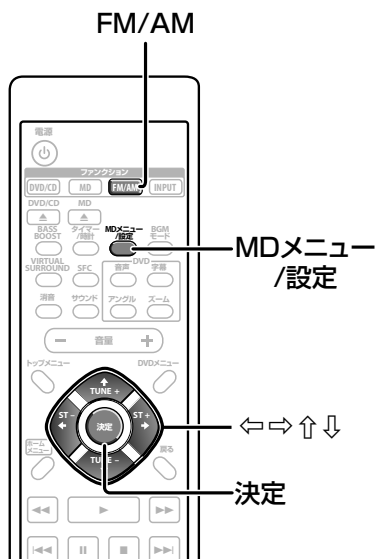
再生中の曲を簡単に録音できます。

1. 録音用 MD をセットします

ラベルを上にして MD の矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 録音したい CD の曲の再生中に、REC THIS ボタンを押します

曲のはじめから録音を開始し、録音が終了するとMDは停止します。CDは、そのまま再生を続けます。
途中で録音を停止する場合は、■**ボタン**または**REC/STOPボタン**を押します。

注 意

- ◆ CDの1曲だけを録音した場合、グループ登録は行いません。
- ◆ 録音は1倍速となります。
- ◆ CDのディスク残り時間を表示しているときは、この操作はできません。**表示/文字ボタン**を押して表示を切り換えてから録音操作を行ってください。
- ◆ CDでリピートプレイ（トラックリピート、ディスクリピート）をしているときは、この操作はできません。リピートプレイを解除してから録音操作を行ってください。

放送局を受信する

アンテナが接続されていないと、FM・AM放送を聞くことはできません。10、12、14ページを参照して、アンテナを接続してください。

1. FM/AM ボタンを押してFM・AM放送を聞くことができる状態にします

本体の **FM/AM/INPUT ボタン**を数回押してもFM・AMモードにすることができます。

```
FM  76.00MHz
```

押すたびに、FMとAMが切り換わります。
FM放送を聞くときはFMを、AM放送を聞くときはAMを選択してください。

2. ⇧⇩を押して、聞きたい放送局の周波数に合わせます

周波数の合わせ方（チューニングのしかた）には、以下の3種類があります。

オートチューニング

⇧⇩を押して、周波数が動き始めたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度⇧⇩を押すか、■ボタンを押します。

マニュアルチューニング

⇧⇩を1回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

ハイスピードマニュアルチューニング

⇧⇩ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

FM 放送の雑音を減らす

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FM のステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくします。
お買い上げ時は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切り換える "Auto" に設定されています。

1.

FM/AM ボタンを押して、FM 放送にします

本体の FM/AM/INPUT ボタンを数回押しても FM モードにすることができます。

2. MDメニュー/設定

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で"Tuner Setup"を選んでから、決定ボタンを押します

Tuner Setup

4.

⇦ ⇨ で "FM Mode" を選んでから、決定ボタンを押します

FM Mode

5.

⇦ ⇨ で"Mono"を選んでから、決定ボタンを押します

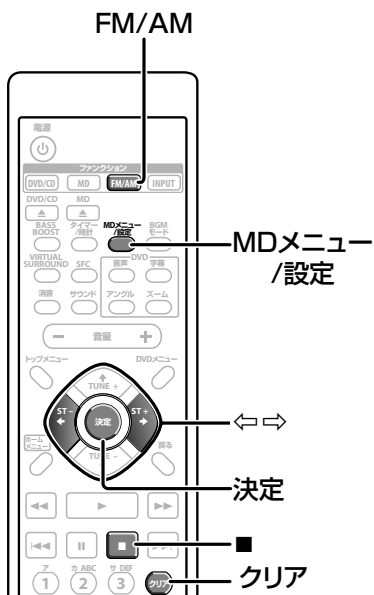
表示部に、"○" と点灯します。
"Auto"に設定する場合は、"Auto"にします。

メモ

- ▼ 放送局を受信すると、表示部に"TUNED"が点灯します。FMステレオ放送のときは"ꝏ"も一緒に点灯します。
- ▼ 本機はテレビ放送の 1 ～ 3 チャンネルの音声も受信できます。FM(76.0MHz ～ 90MHz)→TV1ch→TV2ch→TV3chと受信されます。
- ▼ テレビ放送の音声はモノラルになります。二カ国語放送は主音声のみとなります。

注 意

- ◆ 本機のFM放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
- ◆ "Auto" を選択している場合でも、モノラル放送の場合や電波の弱い場合は、"ꝏ" は点灯しません。

放送局を自動で選局して記憶させる

受信できるFMとAMの放送局を自動的に受信しながら、30局までステーション（記憶番号）に記憶させていきます。
FM局を記憶してからAM局の記憶を始めます。

1. FM/AM ボタンを押してFM・AM放送を聞くことができる状態にします

本体のFM/AM/INPUTボタンを数回押してもFM・AMモードにすることができます。

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で"Tuner Setup"を選んでから、決定ボタンを押します

Tuner Setup

4. ⇦ ⇨ で"Auto Preset"を選んでから、決定ボタンを押します

Auto Preset

FM・AM放送の受信を開始します。
はじめにFM局を受信してステーション1から順に記憶し、そのあとAM局を受信して記憶を開始します。

5. 放送局を受信すると、記憶させるかどうかの確認表示になります

ST– 1 SET ?
FM 79.50 MHz

6.

記憶させる場合は、決定ボタンを押します

記憶させない場合は**クリアボタン**を押します。**決定ボタン**を押すと、次の放送局の受信を開始します。

途中で終了する場合は、■ボタンを押します

30局まで記憶した場合や周波数が一巡した場合は、自動的に終了します。

放送局を手動で記憶させる

FM・AM放送合わせて30局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。

例） FM82.5MHzをステーション3へ記憶させます

1.

記憶したい放送局を受信します

34ページを参照して受信します。

例の場合は、FM 82.5MHzを受信します。

FM 82.50MHz

2.

MDメニュー/設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で"Tuner Setup"を選んでから、決定ボタンを押します

Tuner Setup

4.

⇦ ⇨ で"ST.Memory"を選んでから、決定ボタンを押します

ST . Memory

5.

⇦ ⇨ で記憶するステーションを選びます

記憶するためのステーションは1～30まであります。

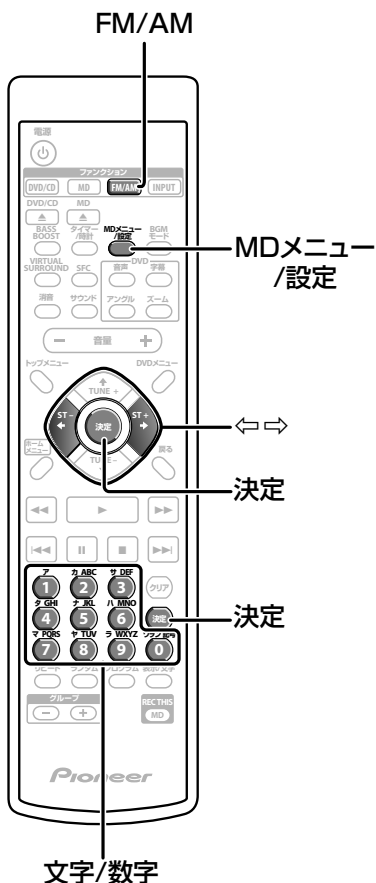
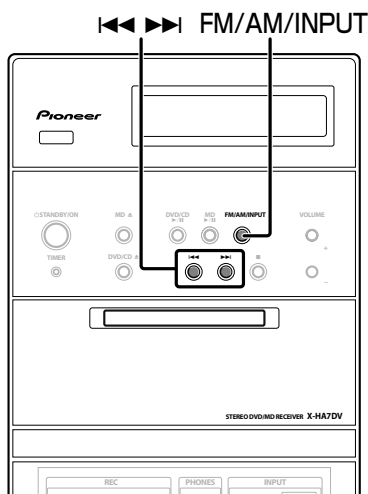
ST– 3 ⇦⇨

6.

決定ボタンを押して記憶させます

FM 82.5MHzがステーション3に記憶されました。

注 意

- ◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。
- ◆ 停電や電源プラグを抜いた状態が長時間続くと、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。
- ◆ ステーションに自動で放送局を記憶させる場合、FMの受信範囲は76MHzから90MHzの範囲内だけです。

記憶させた放送局を呼び出す

各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。放送局の記憶のしかたは 36 ～ 37 ページを参照してください。

1.

FM/AM ボタンを押して FM・AM放送を聞くことができる状態にします

本体の FM/AM/INPUT ボタンを数回押しても FM・AM モードにすることができます。

2.

⇦ ⇨ を押して、記憶したステーションを選びます

本体の ⏮ ⏭ ボタンでも選択することができます。

ST – 1
FM 79.50MHz

リモコンの文字 / 数字ボタンで呼び出す

1.

ステーション番号と同じ文字 / 数字ボタンを押します

（例）ステーション25 ：

ステーション18 ：

2.

決定ボタンを押します

ダイレクトにステーションを選ぶことができます。
文字/数字ボタンを押して2秒以上待つと、**決定ボタン**を押さなくても選ぶことができます。

記憶させた放送局に名前をつける

記憶させた放送局（ステーション）に、11文字以内で名前をつけることができます。
文字の入力方法については、61〜62ページを参照してください。

1. 名前をつけたいステーションを選びます

38ページを参照してください。

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で"Tuner Setup"を選んでから、決定ボタンを押します

Tuner Setup

4. ⇦ ⇨ で"ST. Name"を選んでから、決定ボタンを押します

ST . Name

5. 文字を入力して、ステーションに名前をつけます

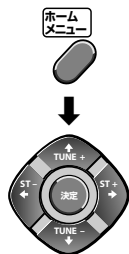
文字の入力は、61〜62ページを参照してください。

6. MDメニュー/設定ボタンを押して終了します

メ モ

▼ 記憶した放送局に名前がついている場合は、名前が表示されます。受信周波数を確認したいときは、**表示/文字ボタン**を押すと、選ばれているステーションの周波数を約2秒間表示します。

プレイモード画面を表示する

以下のいろいろな機能を使うにはプレイモード画面を表示しなければならないことがあります。プレイモード画面は以下の手順で表示します。プレイモード画面は本機のファンクションがDVD(CD)のときのみ表示することができます。

1. **ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させせます**

2. **[プレイモード]を選択して、決定ボタンを押します**

3. **⇧⇩⇦⇨ ボタンと決定ボタンでそれぞれの項目を選択、決定します**

メ モ

▼ Video CD のPBC再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してから表示してください。（51 ページ）

指定した部分を繰り返し再生する（A-B リピート）

DVD-Video　DVD-RW VR　Video CD　CD(R/RW)

1. **再生中にプレイモード画面を表示させ（上記）、[A-B リピート]を選択します**

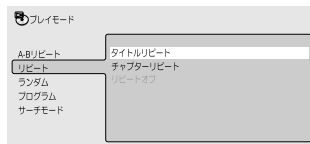
2. **[A(開始箇所)]を選択して、開始したい箇所で決定ボタンを押します**

3. **[B(終了箇所)]を選択して、終了したい箇所で決定ボタンを押します**

A-B リピート再生を開始します。
解除するときは、[**オフ**]を選択します。

注 意

◆ 異なるタイトルをまたいでA-B リピート再生をすることはできません。
◆ A-B リピート再生ができないディスクがあります。

繰り返し再生する（リピート）

プレイモード画面で操作するには

1. 再生中にプレイモード画面を表示させ（40ページ）、[リピート]を選択します

2. リピート再生の種類を選び、決定ボタンを押します

リピート再生を開始します。

- タイトルリピート
- チャプターリピート
- ディスクリピート
- プログラムリピート
- トラックリピート
- グループリピート

リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。
解除するときは[**リピートオフ**]を選択します。

ボタンで操作するには

1. 再生中に、リピートボタンを押します

リピート再生を開始します。
リピートボタンを押すと、以下のように切り換わります。

- タイトルリピート
- チャプターリピート
- ディスクリピート
- トラックリピート
- プログラムリピート
- グループリピート

リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

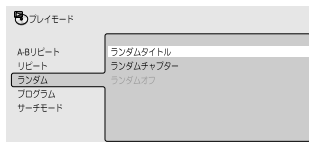
メ モ

▼ ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。
▼ プログラム再生中（43ページ）に**リピートボタン**を押すと、プログラム再生を繰り返します。

注 意

◆ リピート再生ができないディスクもあります。

順不同に再生する（ランダム）

プレイモード画面で操作するには

1. 再生中にプレイモード画面を表示させ（40ページ）、[ランダム]を選択します

2. ランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押します

次のタイトルなどからランダム再生を開始します。

- **ランダムタイトル**
- **ランダムチャプター**
  再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- **ランダムグループ**
- **ランダムトラック**
  再生中のグループ内のトラックを順不同に再生します。
- **ランダムオン**
  ディスク内のトラックを順不同に再生します。
  ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。
  解除するときは、[**ランダムオフ**]を選択します。

ボタンで操作するには

1. ランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押します

ランダム再生を開始します。
ランダムボタンを押すと、以下のように切り換わります。

- **ランダムタイトル**
- **ランダムチャプター**
- **ランダムグループ**
- **ランダムトラック**

ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。

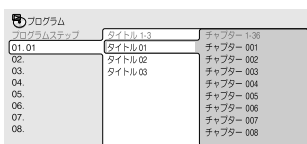
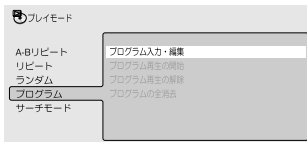
メ モ

▼ ディスクを停止するか、**ランダムオフ**を選択するとランダム再生は解除されます。
▼ ランダム再生中に ►►I **ボタン**を押すと、本機が順不同に次のタイトルなどを選んで再生します。また I◄◄ **ボタン**を押すと、現在再生中のタイトルなどの始めから再生します。

注 意

◆ ランダム再生できないディスクがあります。
◆ ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。

好みの順に再生する（プログラム）

プレイモード画面で操作するには

＊ディスクによってプログラム入力、編集画面が異なります。

1. プレイモード画面を表示させ（40ページ）、[プログラム]を選択します

2. [プログラム入力・編集]を選択して、決定ボタンを押します

3. プログラムしたいタイトル/チャプター/グループ/トラックを選択して、決定ボタンを押します

プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。

4. 手順３を繰り返して、他のタイトルなどを入力します

ステップの間にプログラムを追加したいときは

①プログラムステップの追加したい箇所にカーソルを合わせます。

②追加するタイトルなどを選択して決定ボタンを押します。

追加した箇所にあったタイトルなどは、新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除したいときは

①削除したいプログラムステップにカーソルを合わせます。

②クリアボタンを押します

プログラムが削除され、その後ろにあったタイトルなどが１つ前に繰り上がります。

5. ►ボタンを押します

プログラムした順に再生を開始します。

ボタンで操作するには

聞きたい曲を最大24ステップまで、好きな順番に登録することができます。

1. 停止中にプログラムボタンを押します

PGM00
00：00

上記のように表示されます。すでにプログラムされているときはプログラム総再生時間を表示します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9 0

2. 聞きたい曲の番号の数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します

15曲目を選んだときは、数字ボタンの**1**と**5**を押してから、**決定ボタン**を押します。

例）CDの15曲目を入力したとき

PGM01
15

3. 手順2を繰り返して、聞きたい曲番号を登録します

4. ►ボタンを押します

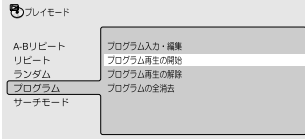
プログラムした順に再生を開始します。

メ モ

- DVD-Video　Video CD　DVD-AUDIO　SACD などのディスクのときはプログラムボタンを押すと、プログラム入力、編集画面となります（43ページ）。
- プログラム再生中に、►►I ボタンを押すと、次にプログラムされたタイトルなどに移ります。
- プログラム再生中にプレイモード画面の[リピート]から[プログラムリピート]を選択、またはリピートボタンを押すと、プログラムした内容を繰り返し再生します。（プログラムリピート再生）
- 一度停止してから、もう一度プログラム再生するときは、プログラムボタンを押してから►ボタンを押します。

注 意

◆ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。
◆ タイトルなどが変わるときに、プログラムしていないタイトルなどの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(CD(R/RW)のみ停止中にクリアボタンを押して消去することもできます)。

見たい場面を探す（サーチモード）

1. 再生中にプレイモード画面を表示させ（40ページ）、[サーチモード]を選択します

2. サーチモードの種類を選び、決定ボタンを押します

- タイトルサーチ
- ページサーチ
- グループサーチ
- タイムサーチ
  （Video CD CD(R/RW)では、再生中のトラック内の時間を、DVD-Video DivXでは再生中のタイトル内の時間を指定して再生します。）
- チャプターサーチ
- トラックサーチ
  サーチモードの種類は、再生しているディスクによって異なります。

3. 数字（0～9）ボタンで再生したいタイトル / チャプター / グループ / トラックまたは時間を入力して、決定ボタンを押します

指定したタイトルなどから再生を開始します。

タイムサーチを選択したとき

21分43秒を再生するには、**2,1,4,3**を押して、**決定ボタン**を押します。

1時間4分（64分00秒）を再生するには、**6,4,0,0**を押して、**決定ボタン**を押します。

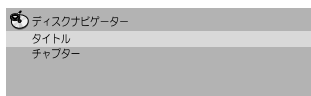
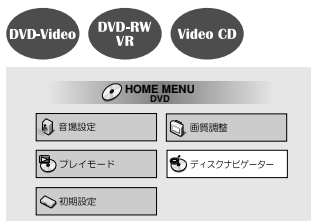
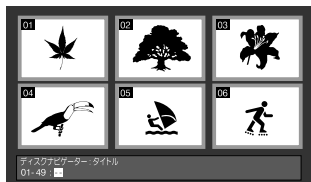
メ モ

▼ DVD-AUDIOには、静止画が収録されているディスクがあります（114ページ）。静止画の種類によって、静止画の番号（ページ）を指定してサーチすることができます。

▼ DVD-Videoでは、ディスクメニューで見たい場面を探す（サーチする）ことができるディスクがあります。このときは、リモコンの**DVDメニューボタン**でディスクメニューを表示させてサーチしてください。

▼ DivXでは、タイムサーチのみ選択することができます。

▼ DVD-AUDIO SACDでは、タイムサーチができません。

ディスクナビゲーターを使って再生する

＊ ディスクによって表示内容が異なります。

1. 再生中にホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します

3. ⇧⇩ ボタンで種類を選択します

DVD-Video	VR DVD-RW	Video CD
タイトル チャプター	オリジナル：タイトル オリジナル：時間 プレイリスト：タイトル プレイリスト：時間	トラック 時間

•**[時間]**を選択すると、10分おきの画像を表示します。

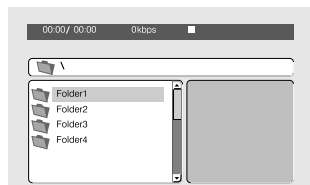
4. 先頭の画面が６枚ずつ表示されるので、再生したいタイトルなどを探します

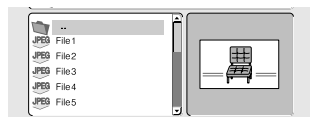
•**►►I ボタン**を押すと、次の６枚に切り換わります(**I◄◄ ボタン**で戻ります)。
•**ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。
•**戻るボタン**を押すと、ディスクナビゲーターの種類を選択する画面に戻ります。

5. 数字ボタンで番号を入力して決定ボタンを押す

•番号にカーソルを合わせて**決定ボタン**を押しても再生することができます。

メモ

▼ Video CD のPBC再生中は ディスクナビゲーター画面を表示することができません。PBC再生を解除してください（51ページ）。
▼ DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを**[オリジナル]**、オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを**[プレイリスト]**といいます。
▼ プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に**[プレイリスト]**は表示されません。
▼ 一部の DVD-Video では、ディスクナビゲーターが使用できない場合があります。

＊ WMA/MP3 の場合

＊ JPEG の場合

＊ DivX の場合

1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [ディスクナビゲーター]を選択して、決定ボタンを押します

3. ⇧⇩ ボタンでフォルダーを選択して、決定ボタンを押します

•半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー/トラック/ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

4. ⇧⇩ ボタンで再生したいトラック / ファイル / タイトルを選択します

• JPEG でファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。
• ⬅ ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

5. 決定ボタンを押します

•選択したトラック/ファイルから再生を開始します。

• JPEG では、画像が次々に表示されます(スライドショー)。
•スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
•**ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。

メ モ

▼ WMA/MP3 JPEG DivX では、ディスク情報の読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。

▼ -- を選択して**決定ボタン**を押しても、上の階層に戻すことができます。

▼ ディスクナビゲーターを使うと、フォルダーごとの再生となります。フォルダーをまたいで再生したいときは、ディスクをセットしたあとに ▶ **ボタン**を押して再生を開始してください。

画像を拡大する(ズーム)

1. ズームボタンを押します

•ズームエリア(拡大する場所)が表示されます（ JPEG を除く)。⇧ ⇩ ⇦ ⇨ **ボタン**でズームエリアを移動することができます。
•押すたびに、2 倍 →4 倍 → 通常と切り換わります。

メ モ

▼ JPEG では ► **ボタン**を押してスライドショーに戻すこともできます。

画像を回転 / 反転させる

1. ⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンを押します

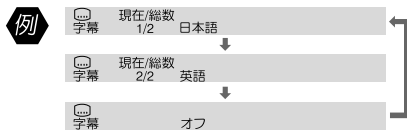
⇨ ー 押すたびに画像が時計回りに 90°回転します。
⇦ ー 押すたびに画像が反時計回りに 90°回転します。
⇧ ー 画像の上下が反転します。
⇩ ー 画像の左右が反転します。

メ モ

▼ 通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。

字幕を切り換える

1. 再生中に字幕ボタンを押します

•押すたびに字幕が切り換わります。

字幕が収録されていないときは［ー / ー］が表示されます。

メ モ

▼ ここで切り換えた字幕言語の設定は、リジューム機能（15ページ）を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定（90ページ）の設定に戻ります。

▼ DVD-Video によっては字幕ボタンで字幕言語を切り換えられない場合があります。DVD のメニュー画面で切り換えてください。

5 ディスクの再生

音声を切り換える

1. 再生中に音声ボタンを押します

押すたびに音声が切り換わります。

※ 3/2.1CH はディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは 107 ページをご覧ください。

- Video CD CD(R/RW) では、ステレオ、1/L（左）、2/R（右）が切り換わります。
- 二カ国語で記録された VR DVD-RW では、主、副、主／副音声が切り換わります。
- DVD-AUDIO の再生中に音声ボタンで音声を切り換えると、そのトラックの始めから再生を行います。

メ モ

▼ DVD-Video によっては**音声ボタン**で音声を切り換えられない場合があります。DVDのメニュー画面で切り換えてください。

▼ ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。

▼ ここで切り換えた音声の設定は、リジューム機能（15ページ）を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定（90ページ）の設定に戻ります。

アングルを切り換える

複数のアングルが収録されている DVD-Video では、再生中にアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。詳しくは 107 ページをご覧ください。

1. アングルボタンを押します

- 現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。
  押すたびにアングルが切り換わります。

メ モ

▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、🎥マークが画面に表示されます。🎥マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします。(91 ページ)

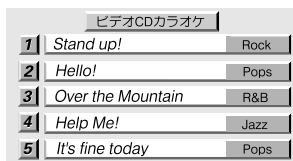
▼ 🎥マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。

▼ メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。

メニュー画面から再生する(PBC再生) Video CD

Video CD では、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

ビデオCDカラオケ

1	Stand up!	Rock
2	Hello!	Pops
3	Over the Mountain	R&B
4	Help Me!	Jazz
5	It's fine today	Pops

※ ディスクによって表示内容が異なります。

1. PBC再生対応ディスクを入れ、► ボタンを押して再生します

メニュー画面が表示されます。

2. 数字(0〜9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定ボタンを押します

再生を開始します。再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページを進める、または戻すには

メニュー画面を表示中に ►►I または I◄◄ ボタンを押します。

メニュー画面のページを出さずに再生するには(PBC再生を解除して再生する)

停止中に►►Iまたは I◄◄ボタンで選択します。また停止中に数字(0〜9)ボタンで選択して、決定ボタンを押すことでも解除して再生することができます。

ディスクの情報を見る

表示/文字

1. 再生中に表示/文字ボタンを押します

ディスクの経過時間や残量などを表示します。

2. 例

ディスクによっては、**表示/文字ボタン**を押すたびに表示内容が切り換わります。

表示/文字ボタンを数回押すと、表示がオフになります。

メ モ

▼ Video CD のPBC再生中は一部の情報が表示されません。PBC再生を解除してください(上記参照)。

DVDとMDを同時に再生する(BGM モード)

DVD の映像と MD の音声を同時に楽しむことができます。また、JPEG ディスクを使用すると効果的です。

1. 再生したい DVD と MD をセットします

2. リモコンの BGM モードボタンを押します

DVD と MD が再生を開始します。

- スピーカーからは、MD の音声のみが出力されます。
- BGM モード中は本体表示窓に［BGM］と点灯します。

BGM モードを解除するには

BGM モードボタンをもう一度押します

DVD と MD が停止します。

メ モ

▼ DVD は、すべての操作を行うことができます。

▼ MD はリピート再生となります。ただし、あらかじめ 1 曲リピート再生が設定されている場合は、1 曲リピート再生となります。

注 意

◆ BGM モード中に FM・AM 放送や接続している外部機器の音を聞くと、BGM モードは解除されます。

◆ BGMモード中にMDを停止したい場合は、**BGMモードボタン**をもう一度押して、BGMモードを解除するか、**MD⏏ボタン**を押して、MDを取り出してください。

◆ BGMモード中は、MD内の好きな曲を選んだり、一時停止、早送り、早戻ししたりすることはできません。

◆ BGMモード中は、スリープタイマー以外のタイマーの設定・変更はできません。

◆ デジタル出力端子からは何も出力されません。

MD を順不同に再生する（ランダム）

すべての曲から順不同に選んで、各曲を１回ずつ再生します。

ランダムボタンを押します

ランダム再生を開始します。
RDM と点灯します。
すべての曲の再生を終了すると、自動的に停止します。

ランダム再生をやめるには...

■ボタンを押すとランダム再生が解除され、演奏を停止します。

メ モ

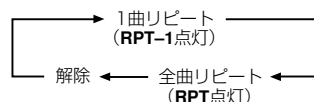
- ▼ ランダム再生中に**►►I ボタン**を押すと、別の曲を順不同に選んで再生します。
- ▼ ランダム再生中に**リピートボタン**を押すと、ランダム再生を繰り返し再生します。**（ランダムリピート再生）**

MD を繰り返し再生する（リピート）

再生している１曲だけを繰り返す１曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートとがあります。

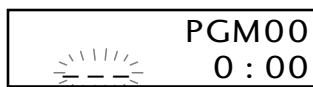
リピートボタンを押します

押すたびに、以下のように切り換わります。

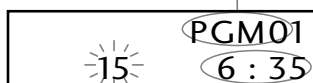
メ モ

- ▼ １曲リピート中に **I◄◄ ►►I ボタン**を操作して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し再生します。
- ▼ ランダム再生中またはプログラム再生中は、１曲リピートは選択できません。

MD を好みの順に再生する（プログラム）

聞きたい曲を最大 30 曲まで、好きな順番に登録することができます。

1. MD が停止中に、プログラムボタンを押します

2. 聞きたい曲の番号の文字 / 数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します

15 曲目を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 1 と 5 を押してから、決定ボタンを押します。

現在入力中のプログラム数

プログラム総再生時間

3. 手順 2 を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録します

4. ► ボタンを押します

プログラムした順に再生を開始します。

登録を間違えたとき

MD が停止中にクリアボタンを押します

押すたびに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容を確認する

プログラム再生中に■ボタンを押して再生を停止させてから、⏮ または ⏭ ボタンを押します。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます

- MD 停止中に **■ ボタン**を 1 回押したとき
- **MD▲ボタン**を押して、MDを取り出したとき
- 電源をオフにしたとき
- **ランダムボタン**を押したとき

メ モ

▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ **ボタン**を押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。
▼ プログラム再生中に全曲リピート再生(53 ページ参照) を選択すると、プログラムした内容を繰り返し再生します。**(プログラムリピート再生)**

注 意

◆ プログラムのトータル時間が、512'00" 以上の場合は、プログラムのトータル時間は表示されません。
◆ グループ再生時は、グループ内の曲のみプログラム登録することができます。

CD の好きな曲だけを MD へ自動録音する

CDの曲を最大24曲まで、好きな順番でMDへ録音することができます。

1. 録音用MDをセットします

2. 録音もとのCDをセットします

3. CD が再生中のときは ■ ボタンを押します

4. プログラムボタンを押します

プログラム

```
PGM00
00 : 00
```

プログラム総再生時間を表示します。

5. 録音したい曲の番号の文字/数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します

0 ～ 9

15 曲目を選んだときは、**文字/数字ボタン**の 1 と 5 を押してから、**決定ボタン**を押します。

CDの15曲目を入力した例

```
PGM01
15
```

6. 手順５を繰り返して、録音したい曲番号を登録します

7. 通常録音をするときは本体のダイレクト録音ボタン(DIRECT REC) を、2倍速録音をするときは2倍速ダイレクト録音ボタン(DIRECT REC ×2) を押します

録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。録音を中止する場合は、**■ボタン**または**REC/STOPボタン**を押します。

メモ

- ▼ プログラム登録については、54ページもあわせてご覧ください。
- ▼ この方法で録音する前に、LP2 またはLP4 モード（32 ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ 2 倍速録音は、CD からのデジタル録音でのみ可能です。詳しくは30～31 ページを参照してください。

FM・AM放送をMDへ録音する

MDにFM・AM放送を録音します。

1. 録音用MDをセットします

2. FM/AMボタンを押してから、録音したい放送局を受信します

3. REC/STOPボタンを押します

REC /STOP

録音が開始されます。

録音を止めたいときは

REC/STOPボタンを押します

REC /STOP

メ モ

- ▼ この方法で録音する前に、LP2またはLP4モード（32ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ FM・AM放送を録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
- ▼ FM・AM放送を録音する場合は、1回の録音内容を1曲として曲番号がつきます。

ディスクの好きな部分をMDへ録音する

本機で再生できるディスクを、MDへ録音することができます。DVD-Video Video CD

DVD-AUDIO SACD から録音する場合は、このマニュアル操作によるアナログ録音だけとなります。

1. 録音用MDをセットします

2. 録音したいディスクを、本機にセットします

3. DVD/CDボタンを押して再生を開始し、録音したい部分の始めで、もう一度DVD/CDボタンを押して一時停止させます

DVD/CD

4. REC/STOPボタンを押します

REC /STOP

録音が開始されます。

5. DVD/CDボタンを押して再生を開始します

録音を止めたいときは

REC/STOPボタンを押します

REC /STOP

メモ

▼ この方法で録音する前に、LP2またはLP4モード（32ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。

▼ DVD-Video Video CD DVD-AUDIO SACD から録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。

▼ DVD-AUDIO の場合、一部またはすべての曲が録音できないディスクがあります。その場合、"Protected DVD-A"と表示され、録音は停止します。

デジタル録音レベルを調整する

デジタル録音の場合、通常はデジタル入力の録音レベルを調整する必要はありませんが、本機ではCDからのデジタル録音時に調整することができます。
たとえば、複数のCDから1枚のMDに録音する場合に、ディスク間の音量レベルを合わせるときに調整します。

1. 録音用MDをセットします

本機にMDがセットされていないと、デジタル録音レベルを調整することはできません。

2. DVD/CDボタンを押して、CDの再生を開始します

DVD/CD

3. 111ページを参照して、デジタル録音に切り換えます

お買い上げ時は、デジタル録音に設定されていますので、操作は必要ありません。

4. MDメニュー/設定ボタンを押します

5. ⇦ ⇨で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

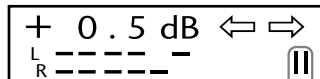
MD Menu

6. ⇦ ⇨で"D.Vol"を選んでから、決定ボタンを押します

D.Vol

7. ⇦ ⇨を押して、デジタル録音レベルを調整します

ST－ ST＋

＋ 0.5 dB ⇦ ⇨
L
R

この部分（10番目）のレベルに到達しないように調整します。

8. 決定ボタンを押します

メモ

▼ 調整範囲は、MIN(–∞) ～ +18dBの範囲内です。0dBが初期値となります。

▼ 音量レベルが初期値である0dB以外に調整されると、表示部に"D.VOL"が点灯します。

6

MDを使う

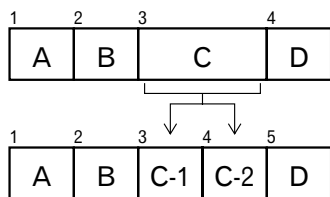
MDの編集機能について

曲順を変えたり、1曲を2曲に分けるなどの編集をして、自分だけのオリジナルディスクを作ることができます。ただし、誤消去防止つまみが開いたMD（108ページ参照）では編集機能は使うことはできません。編集機能を使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。
編集機能には次のようなものがあります。

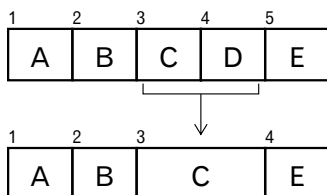
ディスクや曲、グループに名前を付ける（ネーム機能） – 59～62ページ

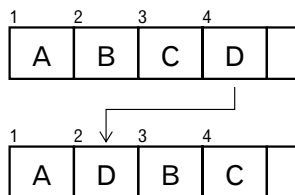
録音した曲に曲名、録音したディスクにディスク名、登録したグループにグループ名を付けることができます。
ディスクに名前を付ける機能をディスクネーム機能、曲に名前を付ける機能をトラックネーム機能、グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
カタカナ、アルファベット（A～Z、a～z）数字、記号を使用できます。
曲名は1曲につき、100文字まで入力できます。ディスク名と曲名、グループ名を合わせて、1枚のディスクに約1700文字まで入力することができます。
（ただしカタカナを入力すると、入力できる文字数は半分以下となります。）

1つの曲を2つの曲に分ける（デバイド機能） – 63ページ

1曲を途中から2つの曲に分けます。分けた曲以降の曲番は自動的に変更されます。

Cを2つに分けて新しくC-1、C-2の2曲にした例

連続している2つの曲をつないで1つの曲にする（コンバイン機能） – 64ページ

C、Dの2曲を1曲にして新しくCとします。つないだ曲以降の曲番は、自動的に変更されます。

曲を移動する（ムーブ機能） – 65ページ

ある曲を好きな位置に移動して曲順を変えることができます。並べ変えたあとの曲番は自動的に変更されます。

4曲目のDを2曲目に移動する例

1曲だけ消す（トラックイレース機能） – 66ページ

消したい曲を指定するだけで、1曲をまるごと消すことができます。消した曲は曲名ごと消えます。また、消した曲以降の曲番は自動的に変更されます。

ディスクの全曲を消す（オールイレース機能） – 67ページ

一度にディスク中の全曲を消すことができます。この場合は、ディスク名も消えます。

ディスクや曲、グループに名前をつける（ネーム機能）

ディスクに名前をつけるには

1.

曲が選ばれているときや再生中のときは■ボタンを押します

2.

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4.

⇦ ⇨で"Disc Name"を選んでから、決定ボタンを押します

Disc Name

5.

文字を入力して、ディスクに名前をつけます

文字の入力は、61 ～62 ページを参照してください。
入力できる文字数については、58 ページを参照してください。

6.

MD メニュー / 設定ボタンを押して終了します

途中で文字の入力をやめる場合は、■ボタンを押します。

曲に名前をつけるには

1.

⏮ ⏭ ボタンで名前をつけたい曲を選びます

再生中または録音中でも名前をつけることができます。

2.

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4.

⇦ ⇨ で "TRK. Name" を選んでから、決定ボタンを押します

TRK. Name

5.

文字を入力して、曲に名前をつけます

文字の入力は、61 ～62 ページを参照してください。
入力できる文字数については、58 ページを参照してください。

6.

MD メニュー / 設定ボタンを押して終了します

途中で文字の入力をやめる場合は、■ボタンを押します。

グループに名前をつけるには

1.

■ボタンを押してから、73ページを参照して名前をつけたいグループを選びます

ただし、再生中または録音中に名前をつけることはできません。

2.

MDメニュー/設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4.

⇦ ⇨で"GRP. Name"を選んでから、決定ボタンを押します

GRP. Name

5.

文字を入力して、グループに名前をつけます

文字の入力は、61～62ページを参照します。
入力できる文字数については、58ページを参照してください。

6.

MDメニュー/設定ボタンを押して終了します

途中で文字の入力をやめる場合は、■ボタンを押します。

メモ

▼ 再生中または録音中、曲に名前を入力している途中で次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。再生または録音が終わってからつづきを入力してください。

注意

◆ 誤消去防止つまみが開いているMDには、ディスクや曲、グループに名前をつけることはできません。

ネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）:
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.,'/
□（空白）

アルファベット（小文字）:
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz.,'/□（空白）

数字、記号：
0123456789!”＃＄％&’（）＊+, －./:；
<=>?@_`□（空白）

カタカナ：
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛゜ー□（空白）

文字を入力する

文字が入力できるモードのときに操作します。

リモコンでの入力のしかた

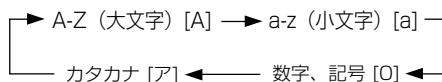
文字入力を終了する場合は、**MD メニュー / 設定ボタン**を押します。

1. **入力する文字が表記されている文字 / 数字ボタンを押します**

たとえば、大文字アルファベットが設定されているときに(ハ MNO 6)を押すと、押すたびにM→N→O→と切り換わります。

MDのディスクネームに、"N"を入力したときの例

文字の種類を変える場合は、表示 / 文字ボタンを押します

A-Z（大文字）[A] → a-z（小文字）[a] → 数字、記号 [0] → カタカナ [ア] → A-Z（大文字）[A]

2. **決定ボタンを押して決定します**

次に入力する文字の文字/数字ボタンが、いま押した文字/数字ボタンと違う場合は、この操作は必要ありません。

ボタン ＼ 文字の種類	アルファベット（大文字）	アルファベット（小文字）	数　字	カタカナ
ア 1	―――	―――	1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
カ ABC 2	A B C	a b c	2	カ キ ク ケ コ
サ DEF 3	D E F	d e f	3	サ シ ス セ ソ
タ GHI 4	G H I	g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
ナ JKL 5	J K L	j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
ハ MNO 6	M N O	m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
マ PQRS 7	P Q R S	p q r s	7	マ ミ ム メ モ
ヤ TUV 8	T U V	t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
ラ WXYZ 9	W X Y Z	w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
ワヲン 記号 0	空白（スペース） . , ’ /	空白（スペース） . , ’ /	0 空白（スペース） ! " # $ % & ’ ( ) * ＋ , ― . / : ; < = > ? @ _ `	ワ ヲ ン ゛ ゜ ー 空白（スペース）

文字を挿入するには

1. 文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を挿入する文字位置まで移動させます

2. 挿入する文字を入力します

3. 決定ボタンを押します

文字を削除するには

1. 文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を削除する文字位置まで移動させます

2. クリアボタンを押します

文字が削除されます。

文字を変更するには

1. 文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を変更する文字位置まで移動させます

2. 新しく文字を入力します

3. ⇨ を押します

曲を２つに分ける（デバイド機能）

録音後に１つの曲を２つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番号を記録することができます。
この編集をすると、以下のようにディスクの内容が変更されます。
- 分けた曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。
- 分ける曲に曲名がついていた場合は、前の曲に名前がつきます。

例） ３曲目を２つに分ける場合

1. 再生中に曲を分ける位置でMDボタンを押します

再生が一時停止します。

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4. ⇦ ⇨ で "Divide" を選んでから、決定ボタンを押します

Divide

⇩

Track 3?

5. もう一度、決定ボタンを押します

Complete

３曲目が２つに分けられました。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、**MDメニュー/設定**ボタンを押します。
▼ １枚のMDで最大254曲まで曲を分けることができますが、MDの状態によってはそれ以下になる場合もあります。

注意

◆ 次の場合はデバイドの操作はできません。
　・ランダム再生が設定されているとき（53ページ）
　・プログラム再生が設定されているとき（54ページ）
◆ LP4モードで長時間録音した曲を分けると、分けた部分でノイズが発生する場合があります。

連続している2つの曲をつなぐ（コンバイン機能）

連続したとなりどうしの曲をつないで、1曲にまとめます。
この編集をすると、以下のようにディスクの内容が変更されます。

- つなぐ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。
- つなぐ曲に曲名がついている場合は、前の曲の曲名がつきます。

例） ４曲目と５曲目をつなぐ場合

1. つなぐ曲の曲番号が大きい曲の再生中に、MDボタンを押します

MD

再生が一時停止します。
例の場合は、5曲目で再生一時停止させます。
MD停止中に⏮ ⏭ ボタンで曲番号を選んでから操作することもできます。

2. MDメニュー/設定ボタンを押します

MDメニュー/設定

3. ⇦ ⇨で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4. ⇦ ⇨で"Combine"を選んでから、決定ボタンを押します

Combine

⇩

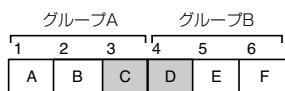
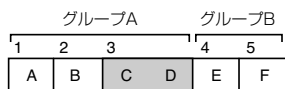
TRK 4+ 5?

5. もう一度、決定ボタンを押します

Complete

４曲目と５曲目がつながりました。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、**MDメニュー/設定ボタン**を押します。
▼ 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能（65ページ参照）で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。
▼ グループ登録されているディスクで、グループをまたいで曲をつないだ場合、つないだ後ろの曲は前の曲のグループに登録されます。

注意

◆ デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなぐことができません。
◆ 違う録音モードで録音した曲同士は、つなぐことができません。
◆ 各録音モードで、ある一定の秒数以下の短い曲は、つながらないことがあります。
　・通常のステレオ録音 8秒以下
　・モノラル録音またはLP2録音.. 16秒以下
　・LP4録音 32秒以下
◆ 次の場合、コンバインの操作はできません。
　・ランダム再生が設定されているとき（53ページ）
　・プログラム再生が設定されているとき（54ページ）

曲を移動する（ムーブ機能）

あるひとつの曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。

例）　８曲目を６曲目に移動する場合

1. **移動したい曲が再生中に、MD ボタンを押します**

MD

再生が一時停止します。
例の場合は、８曲目を再生中に**MD ボタン**を押して再生一時停止にします。
MD 停止中に ⏮ ⏭ ボタンで移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

2. **MD メニュー / 設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します**

MD　Menu

4. **⇦ ⇨ で "Move" を選んでから、決定ボタンを押します**

Move

5. **⇦ ⇨ で移動先の曲番号を選んでから、決定ボタンを押します**

例の場合は、６を選びます。

TRK　 8→　6?

ムーブ機能を実行します。
"Complete"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、**MDメニュー / 設定ボタン**を押します。

▼ グループ登録しているディスクの場合、移動した曲は移動先の曲のグループとなります。たとえば、グループBに登録されている曲をグループAの範囲の曲番号に移動すると、その曲はグループ A の曲になります。

Dはグループ Aの曲になります。

注 意

◆ 次の場合、ムーブの操作はできません。
- ・ランダム再生が設定されているとき（53 ページ）
- ・プログラム再生が設定されているとき（54 ページ）

1曲だけ消す（トラックイレース機能）

選択したひとつの曲とその曲の名前を消します。消した曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

例） 6曲目を消去する場合

1. **消したい曲の再生中に、MDボタンを押します**

再生が一時停止します。
MD停止中に⏮ ⏭ ボタンで移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

6　0：02

2. **MDメニュー/設定ボタンを押します**

3. **⇦ ⇨で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します**

MD Menu

4. **⇦ ⇨で"Track Erase "を選んでから、決定ボタンを押します**

Track Erase

⇩

Track 6?

5. **もう一度、決定ボタンを押します**

Complete

選んだ曲が消されました。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、**MDメニュー/設定ボタン**を押します。

注意

◆ 次の場合、トラックイレースの操作はできません。
・ランダム再生が設定されているとき（53ページ）
・プログラム再生が設定されているとき（54ページ）

全曲を消す（オールイレース機能）

ディスクの全曲を消します。
ディスク名や曲名、グループ名も、すべて消えてしまいます。

1. MD ボタンを押し、■ボタンを押します

2. MD メニュー / 設定ボタンを押します

MDメニュー /設定

3. ⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4. ⇦ ⇨で"All Erase"を選んでから、決定ボタンを押します

All Erase

OK?

5. もう一度、決定ボタンを押します

Complete

すべての曲とディスクネームが消えました。

メ モ

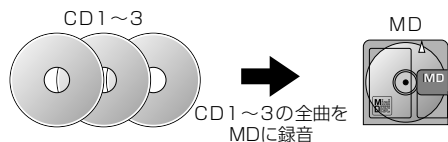
▼ 作業を途中で中止する場合は、**MDメニュー/設定ボタン**を押します。

注 意

◆ 次の場合はオールイレースの操作はできません。
- ・ランダム再生が設定されているとき（53 ページ）
- ・プログラム再生が設定されているとき（54 ページ）

MDのグループ機能について

グループ機能とは

長時間録音モード（LP2またはLP4モード）で録音すると、複数のCDを１枚のMDに録音できたり、100曲以上録音できたりして便利です。

しかし・・・
「録音した３枚目のCDはMDの何曲目からなの？」というように曲を見つけるのが大変です。
そこで・・・
本機では、MDに収録されている曲をグループ機能を使って簡単に操作できます。

グループディスクを作成する（グループ登録）－ 70ページ

- グループを登録する

MDディスクに収録されている複数の曲をグループとして登録したディスク（グループディスク）を作成します。なお、本機でMD1枚に登録できるグループ数は、最大99個です。

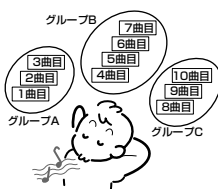
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J

グループA			グループB				グループC		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J

一度グループ登録したあとでも、以下の編集ができます。

- グループを変更する（71ページ）
- 登録したグループを解除する（72ページ）
- 登録したグループをすべて解除する（72ページ）

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）－ 73ページ

指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。

グループA ➡ グループB ➡ グループCの先頭曲（1曲目 ➡ 4曲目 ➡ 8曲目）というように、各グループの先頭曲の頭出しが簡単に行えます。

選択したグループだけ再生するよう設定する（グループ再生機能）－74ページ

グループ登録されているMDで、ディスク全体の再生を行うオールトラックプレイモードと、選択したグループの再生だけを行うグループプレイモードとに切り換えることができます。

グループに名前を付ける（グループネーム機能）－ 60ページ

登録したグループにグループ名を付けることができます。
グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
入力できる文字の種類は、60ページを参照してください。最大文字数は、１枚のディスクに約1700文字まで（ディスク名、曲名、グループ名を合わせて）入力することができます。
（ただしカタカナを入力すると、入力できる文字数は半分以下となります。）

グループ登録した MD ディスクについて

グループ機能はMD規格の推奨方法に基づいています。
本機でグループ編集したMDディスクは、ほかのグループ機能搭載機器でもグループ編集ができます。

ディスクネーム「CM SONGS」

グループネーム	「グループA」			「グループB」				
	1	2	3	4	5	6	7	8
	A	B	C	D	E	F	G	H

上図のようなグループ登録したMDディスクのグループ情報は、実際はディスクネームの情報を格納する場所に書かれています。
そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスクネームを表示させると、以下のように表示されますが故障ではありません。
0; CM SONGS／／ 1 – 3; グループ A ／／ 4 – 8; グループ B ／／

グループディスクをグループ機能を搭載していない機器で編集した場合

グループ登録したグループディスクを、グループ機能を搭載してない機器で編集しないでください。
たとえば、ムーブ機能やトラックイレース機能の編集を行うと、グループとして登録していた曲番号が編集前と異なってしまいます。

本機のグループ機能の制限

パイオニア製以外の機器でグループ登録されたMD ディスクのなかには、グループネームはあるのに、曲番号の範囲が無いグループもあります。その場合、本機ではグループとして認識されません。これらのグループは以下の編集をすると消去されますのでご注意ください。

- MD の編集（63 ～ 67 ページの操作）
- グループの登録、変更、解除（70～72ページの操作）

グループディスクを作成する（グループ登録）

MDに収録されている複数の曲をグループ登録します。ただしグループ登録は、曲番号が1～3のように連続している曲でしか行うことはできません。
曲番号が離れている場合は、ムーブ機能（65ページ参照）を使用して、あらかじめ連続した曲番号になるようにしておきます。
1枚のMDディスクに登録できるグループは、最大で99個です。

『CDの全曲をまるごと録音する』（30ページ参照）の手順で録音した場合、すでにCD一枚ごとにグループ登録されています。

グループを登録する

例）12～15曲目を新しいグループに設定します。

1. MDボタンを押し、■ボタンを押します

2. MDメニュー / 設定ボタンを押します

MDメニュー
/設定

3. ⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4. ⇦ ⇨ で "New Group" を選んでから、決定ボタンを押します

New Group

5. ⇦ ⇨ でグループの先頭曲を選んでから、決定ボタンを押します

文字/数字ボタンでダイレクトに曲を選ぶこともできます。

TRK 12→ 1?

6. ⇦ ⇨ でグループの最終曲を選んでから、決定ボタンを押します

文字/数字ボタンでダイレクトに曲を選ぶこともできます。

TRK 12→ 15?

"Complete"と表示されると操作終了です。
12～15曲目が新しいグループに登録されました。

注 意

- ◆ **1つの曲を複数のグループに登録することはできません。**たとえば、1～3曲目をグループAに3～5曲目をグループBに、というように3曲目を2つのグループに登録することはできません。
- ◆ 曲を飛び越えてグループ登録することはできません。たとえば1、3、5曲目というような飛び飛びの曲番号を1つのグループとして登録することはできません。
- ◆ すでに登録されているグループと登録しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、登録することはできません。
- ◆ 本機でグループ登録したMDディスクでも、グループ機能のないMDプレーヤーではグループ再生をすることはできません。またその場合、ディスクネームに入力していない文字列が表示されます。これは、グループ登録した情報をディスクネームで管理しているためで、MDプレーヤーの故障ではありません。
- ◆ グループプレイ（74ページ）が設定されいるときは、グループ登録をすることはできません。

グループディスクを変更する

グループを変更する

例）12～15曲目のグループを10～13曲目に変更します。

1. MD の停止中にグループサーチボタンを押して変更するグループの先頭曲を選びます

グループ − ＋

73ページを参照してください。

2. MD メニュー / 設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

ST− 決定 ST＋

MD Menu

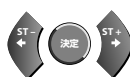
4. ⇦ ⇨ で "Group Edit" を選んでから、決定ボタンを押します

ST− 決定 ST＋

Group Edit

5. ⇦ ⇨ でグループの先頭曲を選んでから、決定ボタンを押します

リモコンの**文字/数字ボタン**でダイレクトに選ぶこともできます。

TRK 10→ 15？

6. ⇦ ⇨で押して、グループの最終曲を選んでから、決定ボタンを押します

ST− 決定 ST＋

リモコンの**文字/数字ボタン**でダイレクトに選ぶこともできます。

TRK 10→ 13？

"Complete"と表示されると操作終了です。
グループ変更が実行されました。

メ モ

▼ 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。

注 意

◆ すでに登録されているグループと、変更しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合は、変更ができません。
◆ グループプレイ（74ページ）が設定されているときは、変更することはできません。

登録したグループを解除する

1.

MD の停止中にグループサーチボタンを押して解除するグループの先頭曲を選びます

73 ページを参照してください。

2.

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4.

⇦ ⇨で"GroupCancel"を選んでから、決定ボタンを押します

GroupCancel

⇩

TRK 12→ 15?

5.

もう一度、決定ボタンを押します

Complete

グループ解除が実行されました。

登録したグループをすべて解除する

1.

MD ボタンを押し、■ボタンを押します

2.

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で "MD Menu" を選んでから、決定ボタンを押します

MD Menu

4.

⇦ ⇨で"GroupCancel"を選んでから、決定ボタンを押します

GroupCancel

⇩

All?

5.

もう一度、決定ボタンを押します

Complete

すべてのグループの解除が実行されました。

注 意

◆ グループプレイ（74ページ）が設定されいるときは、グループ解除をすることはできません。

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）

グループ登録されているMDの場合、指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。
グループ登録されていない場合は、70ページを参照してグループ登録をしてください。

次のグループに進むには・・・

1. グループ登録されたMDをセットします

2. グループサーチボタンの＋を押します

一回押すと次のグループに進み、押した回数だけグループをスキップします。
⇧でも同様に操作できます。

前のグループに戻るには・・・

1. グループ登録されたMDをセットします

2. グループサーチボタンのーを押します

一回押すと、前のグループの始めに戻ります。
⇩でも同様に操作できます。

注 意

- ◆ プログラム再生が設定されている場合は、グループを選ぶことはできません。
- ◆ ランダム再生中は、グループを選ぶことはできません。
- ◆ グループに名前が入力されていない場合は、"No Name"と表示されます。

選択したグループだけ再生する(グループ再生機能)

グループ登録されているMDで、選択したグループだけを再生するように設定することができます。

- **グループプレイ**
  グループサーチ機能（73ページ）で選択したグループ内の曲だけ再生します。
- **オールトラックプレイ**
  グループに関係なく、ディスク全体の再生を行います。

1. MDの停止中にMDメニュー/設定ボタンを押します

MDメニュー/設定

2. ⇦ ⇨ で"MD Menu"を選んでから、決定ボタンを押します

ST－ 決定 ST＋

MD Menu

3. ⇦ ⇨ で"Play Area"を選んでから、決定ボタンを押します

ST－ 決定 ST＋

Play Area

4. ⇦ ⇨ でオールトラックプレイかグループプレイかを選んでから、決定ボタンを押します

ST－ 決定 ST＋

- グループプレイ

Group

- オールトラックプレイ

All

グループプレイを設定した場合は、"GROUP"が点灯します。

メモ

▼ お買い上げ時は、オールトラックプレイが設定されています。
▼ 再生モードがグループプレイのときに全曲リピート再生を設定すると、繰り返し再生される曲は、選択されているグループ内の全曲です。
▼ 再生モードがグループプレイのときにランダム再生を設定すると、無作為に再生される曲は、選択されているグループ内の全曲です。

注 意

◆ グループプレイに設定されていると、MDの編集作業（63〜67ページ）、グループディスクの編集/作成（70〜72ページ）はできません。オールトラックプレイに設定してから操作をしてください。

MDのディスク情報を見る

停止中、本体表示部にてMDのディスク情報を見るには

停止中に、表示/文字ボタンを押します

押すたびに表示内容が切り換わります。

- オールプレイモードで、曲番の指定がないとき（■ **ボタン**を押した状態）

  ディスク名*(HIT SONGS)
  ディスクの全曲数(16)/総再生時間(61'34")

  ```
  HIT SONGS
     16   61:34
  ```

  ディスク名*(HIT SONGS)
  録音可能時間**（42'07"）

  ```
  HIT SONGS
  REC   42:07
  ```

- グループプレイモードで、曲番の指定がないとき（■ **ボタン**を押した状態）

  グループの先頭曲－最終曲(24-35)
  選択しているグループ内の全曲数(12)/選択しているグループの総再生時間(20'56")

  ```
  GRP       24– 35
           12   20:56
  ```

  グループ名*(ALBUM BEST)
  グループの先頭曲－最終曲(24-35)

  ```
  ALBUM  BEST
  GRP  24–35
  ```

  グループ名*(ALBUM BEST)
  録音可能時間**（22'26"）

  ```
  ALBUM  BEST
  REC    22:26
  ```

- 停止中に ⏮ ⏭ ボタンを押すと、以下の表示になります。

  曲名表示*（TOMORROW）
  選んだ曲の曲番号(8)/再生時間(3'01")

  ```
  TOMORROW
     8   3:01
  ```

  選んだ曲がグループ登録されている場合
  グループ名*(ALBUM BEST)
  グループの先頭曲－最終曲(24-35)

  ```
  ALBUM  BEST
  GRP  24–35
  ```

再生中、本体表示部にてMDのディスク情報を見るには

表示/文字

再生中に、表示 / 文字ボタンを押します

押すたびに表示内容が切り換わります。

曲名表示＊（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/曲の再生経過時間 (0'48")

```
TOMORROW
   8    0:48
```

曲名表示＊（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/ 曲の残り時間 (2'13")

```
TOMORROW
   8    2:13
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループ名＊ (ALBUM BEST)
グループの先頭曲－最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GRP  24–35
```

メ モ

▼ 録音中に**表示 / 文字ボタン**を押すと、表示内容が切り換わりますが､録音しているファンクションによって表示内容は異なります。

注 意

◆ 停止中の表示で曲番号を指定した場合は､その曲がグループ登録されていないと**表示/文字ボタン**を押しても表示は切り換わりません。

*　ディスク名や曲名､グループ名が入力されていない場合は、"No Name" と表示されます。

**　再生専用の MD の場合は表示されません。

仮想のサラウンド再生を楽しむ

左右のフロントスピーカーだけで、臨場感のある立体音場を楽しむときに使用します。
はじめに **DVD/CD ボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

VIRTUAL SURROUND

VIRTUAL SURROUND ボタンを押します

押すたびに、バーチャルサラウンドの**[オン]**と、**[オフ]**とが切り換わります。

設定画面で切り換えるには

1. ホームメニュー

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

2.

[音場設定] を選んでから、決定ボタンを押します

3.

[バーチャルサラウンド]を選んで⇨を押したあと、⇩⇧ボタンで[オン]または[オフ]を選択します

4.

決定ボタンを押します

メモ

- **[バーチャルサラウンド]** を **[オン]** に設定していると、96kHz 以上のリニア PCM 音声は 48kHz に変換されて出力されます。
- **[バーチャルサラウンド]** はデジタル音声出力にも効果があります。ただし、デジタル音声出力がドルビーデジタル、DTS、または MPEG 音声で出力されているときは効果がありません(デジタル音声モードの設定については 87 ページをご覧ください)。
- **[バーチャルサラウンド]** の効果が少ないディスクもあります。
- **[バーチャルサラウンド]** を **[オン]** に設定していると、バーチャルサラウンドの効果のまま MD に録音されます。
- 設定は BGM モードの時は反映されません。

音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整する

オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。たとえば、映画のセリフなどが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。
はじめに **DVD/CD ボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

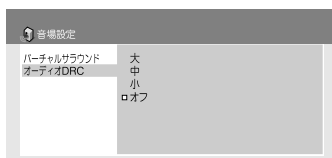
1.

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

2.

[音場設定]を選んでから、決定ボタンを押します

音場設定

3. **[オーディオ DRC]を選んで ⇨ ボタンを押したあと、⇧⇩ ボタンで [大]、[中]、[小] または [オフ] を選択します**

オフ(お買い上げ時の設定)
ダイナミックレンジを圧縮せずに、ソフトに収録されたまま再生します。

大
ダイナミックレンジを最も圧縮します。

中
ダイナミックレンジを圧縮します。

小
ダイナミックレンジを少し圧縮します。

4. 決定ボタンを押します

メモ

- ▼ オーディオ DRC は、ドルビーデジタル音声だけに働きます。
- ▼ ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- ▼ **[Digital出力]**を**[Digital > PCM]**(87ページ)に設定しているとき、オーディオ DRC はデジタル音声出力端子から出力される音声にも働きます。

音質を変えて再生する

音楽ライブが収録されたDVDや映画が収録されているDVDなど、収録されている内容によって音質を変え、よりよいサウンドを楽しむことができます。
お買い上げ時は、"Off"に設定されています。

1. SFCボタンを押します

押すたびに以下のように切り換わります。Off以外に設定されたときは、TONEインジケーターが点灯します。

- 低音、高音が強調され、映画の効果音をより楽しめる音質

  Movie

- 音のメリハリが増して、音楽を聴くときに適した音質

  Music

- ライブ会場のような迫力のある音質

  Live

- コンサートホールのような広がり感のある音質

  Hall

- セリフがはっきりする音質

  Drama

- 通常の音質

  Off

注 意

◆ SFCでの音質の設定を行うと、高音(Treble)や低音(Bass)の設定は強制的に0になり、マナーモードもオフになります。

高音と低音を調整する

再生する曲の高音（Treble）と低音（Bass）の音質を、それぞれ調整することができます。
お買い上げ時は、Bass：0、Treble：0に設定されています。

1. サウンドボタンを押します

2. ⇦ ⇨で"Tone"を選んでから、決定ボタンを押します

Tone

3. ⇦ ⇨で"Bass"または"Treble"を選んでから、決定ボタンを押します

- 低音の音質を調整します

  Bass

- 高音の音質を調整します

  Treble

4. ⇦ ⇨で音質のレベルを調整してから、決定ボタンを押します

調整範囲は、±5までです。
0以外に設定されたときは、TONEインジケーターが点灯します。

注 意

◆ 高音や低音を調整すると、SFCでの音質の設定はOff（通常の音質）になり、マナーモードもオフになります。

低音を強調する

低音を強調して迫力ある低音で再生します。
お買い上げ時は、"Off" に設定されています。

1. BASS BOOST ボタンを押します

BASS
BOOST

2. 押すたびに"On"と"Off"が切り換わります

On

Off

"On" にすると、BB インジケーターが点灯します。

小さい音で映画を楽しむ（マナーモード）

夜間に映画を楽しむとき、小音量で再生している場合でも、突然の効果音などの低音が大きく出ることがあり、隣室などへ音もれといった迷惑をかけることがあります。この機能は、セリフ帯域の音量感をあまり下げることなく、低域と一部高域の音量感をダウンさせることで、隣室などへ音もれといった迷惑を防止するモードです。小音量で他人に迷惑をかけないで、自分の世界を楽しむことができます。
お買い上げ時は、"Off" に設定されています。

1. サウンドボタンを押します

2. ⇦ ⇨ で "Manner Mode" を選んでから、決定ボタンを押します

ST－
決定
ST＋

Manner Mode

3. ⇦ ⇨ で "On" または"Off" を選んでから、決定ボタンを押します

On

Off

"On" にすると、TONE インジケーターが点灯します。

注 意

- ◆ マナーモードをオンに設定すると、SFC モードでの音質の設定は、Off（通常の音質）になり、高音(Treble)や低音(Bass)の設定は強制的に 0 になります。
- ◆ ヘッドホンを差すとマナーモードはOffになります。ヘッドホンを抜くとマナーモードはもとの設定になります。

画質を調整してより見やすくする

↓

項目によって設定画面が異なります。

例 1

例 2

ブライトネス min IIIIIIIII.......... max 0

＊ **戻るボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [画質調整]を選んで、決定ボタンを押します

3. 各項目を設定します

シャープネス
画像の鮮明度を調整します。
•**ファイン、標準** (お買い上げ時の設定)、**ソフト**

ブライトネス
画面の明るさを調整します。
•**－20～＋20** (お買い上げ時の設定：**0**)

コントラスト
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
•**－16～＋16** (お買い上げ時の設定：**0**)

ガンマ
画像の暗い部分の見えかたを強調します。
•**大、中、小、オフ** (お買い上げ時の設定)

色あい
緑色と赤色のバランスを調整します。
•**緑 9～赤 9** (お買い上げ時の設定：**0**)

色の濃さ
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。
•**－9～＋9** (お買い上げ時の設定：**0**)

BNR
映像のブロックノイズを軽減します。
•**オン、オフ** (お買い上げ時の設定)

4. ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了します

メ モ

▼ ディスクやテレビ（モニター）によっては効果がはっきりしないことがあります。

目覚ましタイマー

本機の時計機能を使うと、毎日同じ時刻に再生を開始して終了させることができます。
たとえば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

例）午前7時40分に再生がスタートし、午前8時15分に再生が終わるようにタイマーをセットするとき

1. **再生したい機器の準備をします**

FM/AM
ラジオ放送で目覚めるには...
FM/AMボタンを押してから、好きな放送局を受信します。

DVD/CD
CDやWMA/MP3で目覚めるには...
ディスクをセットし、**DVD/CDボタン**を押します。

MD
MDで目覚めるには...
ディスクをセットし、**MDボタン**を押します。

INPUT
外部機器で目覚めるには...
INPUTボタンを押して、F. Audio In、LineまたはUSBを選択したあと、外部機器の準備しておきます。

2. **音量の調整を行います**

設定した音量でタイマーがオンになります。

− 音量 ＋

3. タイマー/時計 **タイマー/時計ボタンを押します**

4. タイマー/時計 **時刻を表示中にタイマー/時計ボタンをもう一度押します**

5. **⇦ ⇨で "Wake−up"を選んでから、決定ボタンを押します**

Wake−up

6. **⇦ ⇨で "Timer Edit" を選んで、決定ボタンを押します**

Timer Edit

7. **⇦ ⇨で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"7 am" にします。

On 7:00am

8. **⇦ ⇨で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します**

再生開始時刻が設定されます。

例の場合は、"40" にします。

On 7:40am

9. **⇦ ⇨で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"8 am" にします。

Off 8:40am

10. **⇦ ⇨で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します**

例の場合は、"15" にします。

Off 8:15am

設定内容を表示し、"◷"と"☀"が点灯します。

11. **電源⏻ボタンを押して、電源をオフにします**

電源

タイマーインジケーターが点灯します。

途中で設定を中止にするには

■ボタンを押します

再度、目覚ましタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定を解除 / 再設定するには

たとえば週末だけ目覚ましタイマーを解除して、月曜日からは先週と同じ内容で、目覚ましタイマーを再設定することができます。

1. 電源

電源⏻ボタンを押して、電源をオンにします

2. タイマー/時計

タイマー / 時計ボタンを押します

3. タイマー/時計

時刻を表示中にタイマー / 時計ボタンをもう一度押します

4.

⇦ ⇨で"Wake－up"を選んでから、決定ボタンを押します

Wake－up

5.

設定を解除する場合は、⇦⇨で"Timer Off"にします

目覚ましタイマーが解除されます。

Timer Off

再設定する場合は、⇦ ⇨ で"Timer On"にします

Timer On

6.

決定ボタンを押します

タイマーの設定内容を確認するには

1. 電源

電源⏻ボタンを押して、電源をオフにします

2. タイマー/時計

タイマー / 時計ボタンを押します

電源が入り、現時刻を表示します。

3. タイマー/時計

時刻を表示中にタイマー / 時計ボタンをもう一度押します

設定内容を表示します。

メ モ

▼ 再生させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。

注 意

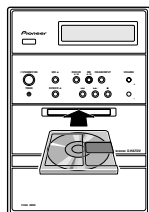
◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定ができません。（26 ページ）

◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示されません。この場合は目覚ましタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためて目覚ましタイマーを設定し直してください。

◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、目覚ましタイマーは動作しません。

本機の時計機能を使うと、決めた時刻にラジオ放送、またはLINE端子に接続した機器の録音を開始して終了させせることができます。
たとえば、お出かけするときや深夜のラジオ放送をタイマー録音を使ってMDに録音することができます。

例）午前7時40分から午前8時15分までタイマー録音する場合

1. 録音用MDをセットします

ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 録音したい機器の準備をします

FM/AM

ラジオ放送をタイマー録音するには...

FM/AMボタンを押してから、録音したい放送局を受信します。

INPUT

外部機器をタイマー録音するには...

INPUTボタンを押して、Lineを選択したあと、LINE端子に接続した機器の準備をしておきます。

3. タイマー/時間ボタンを押します

タイマー/時計

4. 時刻を表示中にタイマー/時間ボタンをもう一度押します

タイマー/時計

5. ⇦ ⇨で"Timer REC"を選んでから、決定ボタンを押します

Timer REC

6. ⇦ ⇨で"Timer Edit"を選んでから、決定ボタンを押します

Timer Edit

7. ⇦ ⇨で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"7 am"にします。

On 7:00am

8 ⇦ ⇨で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

再生開始時刻が設定されます。
例の場合は、"40"にします。

On 7:40am

9. ⇦ ⇨で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"8 am"にします。

Off 8:40am

10. ⇦ ⇨で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"15"にします 。

Off 8:15am

設定内容を表示し、"◷"と"●"が点灯します。

11. 電源⏻ボタンを押して、電源をオフにします

電源

タイマーインジケーターが点灯します。

途中で設定を中止にするには

■ボタンを押します

再度タイマー録音を設定するときは、始めから設定し直してください。

タイマー録音中に録音を途中で止めるには

REC/STOP

REC/STOPボタンを押します

設定を解除 / 再設定するには

1. 電源

電源⏻ボタンを押して、電源をオンにします

2. タイマー/時計

タイマー / 時計ボタンを押します

3. タイマー/時計

時刻を表示中にタイマー / 時計ボタンをもう一度押します

4.

⇦ ⇨で"Timer REC"を選んでから、決定ボタンを押します

```
Timer REC
```

5.

設定を解除する場合は、⇦ ⇨で"Timer Off"にします

タイマー録音が解除されます。

```
Timer Off
```

再設定する場合は、⇦ ⇨で"Timer On"にします

```
Timer On
```

6. 決定

決定ボタンを押します

タイマー録音の設定内容を確認するには

1. 電源

電源⏻ボタンを押して、電源をオフにします

2. タイマー/時計

タイマー / 時間ボタンを押します

電源が入り、現在の時刻を表示します。

3. タイマー/時計

時刻を表示中にタイマー / 時間ボタンをもう一度押します

設定内容を表示します。

メ モ

▼ MDに録音するときに、LP2またはLP4モード（32ページ）に設定すると、より長時間録音できます。

注 意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定をすることはできません。（26ページ）

◆ タイマー録音中は、音量はMIN（最小）になり音は出ません。なお、タイマー録音終了後も音量はMIN（最小）のままです。タイマー録音開始後の音声を聞く場合は、音量を調整してください。

◆ タイマー録音は1度行うと、設定はオフになります。そのつど設定してください。

◆ タイマー録音では録音準備のため、開始時刻の約30秒前に電源が入りますので、1〜10の手順を開始時刻の1分以上前に行ってください。1分以上前に手順を行わなかった場合、録音ができない場合があります。

◆ タイマー録音動作中の表示の明るさは、"Dark"の設定になります。（95ページ）

スリープタイマー

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聴きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。
設定できる時間は、30分、60分、90分の3種類と、スリープオートです。
時計を合わせていないと、スリープタイマーを使用することはできません。(26ページ)

1. タイマー/時計

タイマーボタンを押します

2. タイマー/時計

現時刻を表示中にタイマーボタンをもう一度押します

3.

⇦ ⇨で"Sleep"を選んでから、決定ボタンを押します

Sleep

4.

⇦ ⇨ で終了するまでの時間を設定します

* スリープオート(Sleep Auto)

CD(R/RW) MD DivX SACD Video CD などのディスクの再生中、またはMDの録音中に選ぶことができます。
再生または録音が終了して本機が停止してから約1分後に自動的に電源が切れます。

5.

決定ボタンを押します

スリープタイマーを設定すると、表示部の"" が点灯します。

メ モ

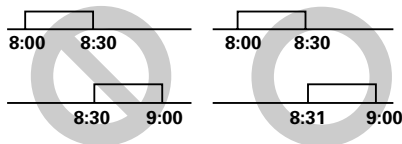
▼ スリープタイマー設定後に、上記手順1～3を行うことで、電源が切れるまでの時間を確認することができます。

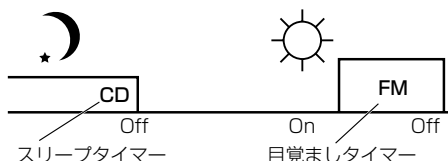
注 意

◆ スリープ動作中の表示の明るさは、"Dark"の設定になります。(95ページ)
◆ Video CD では、PBC再生中やリピート再生中には、スリープオートは動作しません。
◆ DVD、JPEG再生中は、スリープオートは動作しません。
◆ リピート再生しているCDやMDなどでは、Sleep Autoの設定はできません。

タイマーを同時に使ったとき

目覚ましタイマーとタイマー録音を組み合わせて使う場合、以下の注意が必要です。

◆ 目覚ましタイマーとタイマー録音が連続する設定をするときは、設定時刻が重ならないように設定間隔を1分以上あけてください。設定時間に間隔があいていないと、あとに動作予定のタイマー録音が動作しません。

◆ タイマー録音、目覚ましタイマー、スリープタイマーのタイマー動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。
また、開始時刻が重なったときはタイマー録音が優先されます。
◆ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。
たとえば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。

初期設定を変更する

1. ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させます

2. [初期設定]を選択して、決定ボタンを押します

ディスクの再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3. ⇧ ⇩ ⇦ ⇨ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定します

●：お買い上げ時の設定

デジタル音声モード

設定項目	設定内容
DDDigital 出力 接続する外部機器がドルビーデジタル音声に対応していないときに、[Dolby Digital > PCM]を選択します。	●DDDigital：ドルビーデジタル音声のまま出力したいとき。 ○DDDigital > PCM：ドルビーデジタル信号をリニア PCM 信号に変換して出力したいとき。
DTS 出力 接続する外部機器がDTS音声に対応していないときに、[DTS>PCM]を選択します。	● DTS：DTS 信号を出力したいとき。 ○ DTS > PCM：DTS 信号をリニア PCM 信号に変換して出力したいとき。 ▼ DTSに対応していない外部機器に接続しているときに［DTS］を選択すると、ノイズが発生することがあります。
リニア PCM 出力 接続する外部機器が96kHzに対応の外部機器としているときに、[ダウンサンプル オフ]を選択します。	●ダウンサンプル オン：96kHzに対応していない外部機器と接続したとき。各系統の音声周波数を48/44.1kHzにダウンサンプリングして出力します。 ○ダウンサンプル オフ：96kHz対応の外部機器と接続したとき。
MPEG 出力 接続する外部機器がMPEG音声に対応しているときに、[MPEG]を選択します。	○ MPEG：MPEG 音声を出力したいとき。 ● MPEG > PCM：MPEG 音声信号をリニア PCM 信号に変換して出力したいとき。

メ モ

▼ 本機の「DVD/CD デジタル光出力」端子を使って外部機器と接続するときに必要な設定です。ここでの設定は DVD-Video を本機の MD に録音するときも有効になります。

▼ DVD-AUDIO SACD はデジタル出力しません。

●：お買い上げ時の設定

映像出力

設定項目	設定内容
テレビ画面 お使いのテレビに合わせてテレビ画面の縦横比を設定します。	●**4:3(レターボックス):** 従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をレターボックス方式(画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を再現する方式)で見たいとき。 ○**4:3（パンスキャン）：**従来サイズのテレビと接続して、16:9の映像をパンスキャン方式(16:9の映像の左右をカットして4:3の画面全体に映し出す方式)で見たいとき。**この設定はディスクが対応していないとできません。** ○**16:9：**ワイド（16:9）テレビと接続したとき。

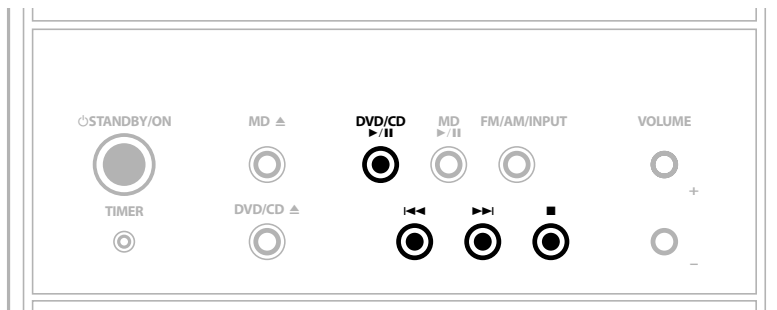
お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像　4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像　4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像　4:3の映像		

* 画面の比率（アスペクト比）の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

D2 映像出力 D1/D2映像端子に出力される映像をインターレースかプログレッシブに設定します。	○**プログレッシブ：**プログレッシブ映像信号に対応しているテレビまたはプロジェクターのとき。 ●**インターレース：**プログレッシブ映像信号に対応していないテレビまたはプロジェクターのとき。 ➡**[プログレッシブ]**を選択して決定を押すと確認の画面が出ます。変更を行う場合は、決定ボタンを押してください。変更しない場合は、その他のボタンを押してください。

▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を切り換えるとき、映像が乱れることがあります。
▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を再生中に切り換えることはできません。ディスクを停止させてから切り換えてください。

注 意

◆ プログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続（11ページ）しているときは、**[プログレッシブ]を選択しないでください。正常な映像が出力されません。選択してしまったときは、下記の方法で[インターレース]に切り換えてください。**

1. **本機を待機（スタンバイ）状態にします**

電源が入っているときは、本体のSTANDBY/ON ボタンを押します。

2. **本体の ■ ボタンを８秒間押し続けます**

以下のように表示されます。

Mem. Clr.?

3. **本体の |◄◄ または ►►| ボタンのどちらかを押します**

以下のように表示されます。

Interlace ?

4. **本体の DVD►/II ボタンを押します**

電源がオンになり、映像出力が**[インターレース]**になります。

●本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は当社のカスタマーサポートセンターへお問い合わせください(裏表紙)。

＊本機と互換性が取れている当社のプログレッシブ対応テレビ(プラズマディスプレイ)

PDP-505HDL、PDP-505HDS、PDP-435HDL、PDP-435HDS、PDP-435SX、PDP-615PRO、PDP-434BX、PDP-434TX、PDP-434HD、PDP-502HD、PDP-503HD、PDP-504HD、PDP-433HD-U、PDP-433HD-S、PDP-434HD-W、PDP-504HD-W、PDP-503PRO、PDP-A503HD、PDP-A433HD-U、PDP-A433HD-S、PDL-30HD

●：お買い上げ時の設定

言語

設定項目	設定内容
音声言語 DVD ビデオの音声言語を変更します。	●**日本語：**日本語にするとき。 ○**英語：**英語にするとき。 ○**その他の言語：**136 言語の中から任意の音声を選びます。（93 ページ） ▼ ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。 ▼ ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**DVDメニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。
字幕言語 DVD ビデオの字幕言語を変更します。	●**日本語：**日本語にするとき。 ○**英語：**英語にするとき。 ○**その他の言語：**136 言語の中から任意の字幕を選びます。（93 ページ） ▼ ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。 ▼ ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**DVD メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。
DVD メニュー言語 DVDビデオのディスクメニューに表示する言語を変更します。	●**字幕言語に連動：[字幕言語]**で選択されている言語でメニュー画面を表示するとき。 ○**日本語：**日本語でメニュー画面を表示するとき。 ○**英語：**英語でメニュー画面を表示するとき。 ○**その他の言語：**136 言語の中から任意の言語を選びます。（93 ページ）
字幕表示 DVD ビデオの字幕を表示する / しないを設定します。	●**オン：**字幕を表示するとき。 ○**オフ：**字幕を表示しないとき。ただし、DVD ビデオの中には強制的に字幕を表示するディスクもあります。

●：お買い上げ時の設定

表示

設定項目	設定内容
画面表示言語 テレビ画面の操作表示言語を設定します。	●**日本語**：操作表示言語を日本語にするとき。 ○ **English**：操作表示言語を英語にするとき。
アングルマーク表示 アングルマーク（🎥）を表示する / しないを設定します。	●**オン**：テレビ画面に🎥マークを表示するとき。 ○**オフ**：テレビ画面に🎥マークを表示しないとき。

オプション

設定項目	設定内容
視聴制限 暴力シーンなどを含むDVDビデオには、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルを小さくしておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。	◆**暗証番号** ◆**レベル変更** ◆**国 / 地区コード** ➡ **暗証番号を登録するには** ①**[暗証番号]を選んで決定ボタンを押します** ②**数字（0～9）ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押します** ▼ 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。 ▼ 暗証番号を忘れてしまったときは、本機を初期化して、再度設定してください（120ページ）。 ▼ ディスクによっては、視聴制限されたシーンだけをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。 ▼ 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このときは、暗証番号を入力しないと再生することができません。

➡ 暗証番号を変更するには

①[暗証番号変更]を選んで決定ボタンを押します
②数字（0～9）ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押します
③数字（0～9）ボタンで新しい暗証番号を入力して、決定ボタンを押します

➡ レベルを変更するには

①[レベル変更]を選んで決定ボタンを押します
②数字（0～9）ボタンで４桁の暗証番号を入力して、決定ボタンを押します
③レベルを選んでから、決定ボタンを押します

➡ 国 / 地区コードを変更するには

国 / 地区コード表（94 ページ）を見ながら操作してください。

（94 ページ）

①[国コード]を選んで決定ボタンを押します
②数字（0～9）ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定ボタンを押します
③数字（0～9）ボタンで[コード]、または ⇧ ⇩ で[国 / 地区コード表]を入力してから、決定ボタンを押します

▼ 国/地区コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

DVD 再生方式

DVD-Video と DVD-AUDIO が 1 枚に収録されているディスクを再生するとき、どちらを再生するかを設定します。

- ●**DVDオーディオ：** DVD-AUDIO （オーディオゾーン) を再生するとき。
- ○**DVD ビデオ：** DVD-Video （ビデオゾーン) を再生するとき。

▼ [DVD ビデオ] を選択していても、本体の **DVD/CD⏏ ボタン**を押したり、電源を切ると、[DVD オーディオ]に戻ります。

SACD 再生

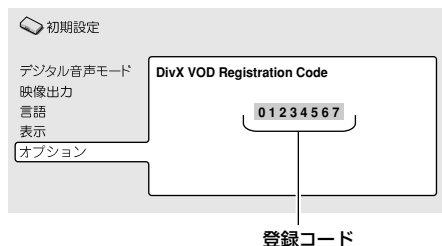
SACD は、2チャンネルと5.1チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドSACDはSACD層とCD層の２層構造になっています。ここでは SACD の再生するエリアを切り換えます。

- ●**2ch エリア：** 2ch エリアを再生するとき。
- ○**マルチ ch エリア：** マルチ ch エリアを再生するとき。
- ○**CD エリア：** CD 層を再生するとき。

DivX VOD

DivX VODフォーマットで記録されたファイルを本機で再生する場合、そのDivX VODファイルの配信先に対して本機の登録コードが必要な場合があります。その場合は、Displayで確認した登録コードをお使いください。

◆ Display

➡DivX VOD登録コードを確認するには
①[DivX VOD]を選択し、⇨ ボタンを押します。
②[Display]を選択して決定ボタンを押します。

登録コード

▼ DivX VODフォーマットで記録されたファイルはDRMコピープロテクションがかかっており、登録されたプレーヤーでのみ再生することができます。
▼ 本機の登録コードが承認されていないDivX VODファイルを再生すると「Authorization Error」と表示され再生することができません。

注 意

◆ DivX VODファイルには視聴回数が設定されているものがあります。そのようなDivX VODファイルを本機で再生すると残りの視聴回数がOSD画面に表示されます。残りの視聴回数が0のファイルを本機が読み込むと「Rental Expired」と表示され再生することができません。また、視聴回数の設定されていないDivX VODファイルについては、OSD画面には残りの視聴回数は表示されず、何度でも再生することができます。

言語の設定で［その他の言語］を選んだとき

言語コード表（94ページ）にある136言語の中から選ぶことができます。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1 2 3
4 5 6
7 8 9 0

1. [その他の言語]を選択して、決定ボタンを押します

2. ⇧⇩⇦⇨　ボタンまたは数字ボタンを使って[言語表]または[コード]を選んでから、決定ボタンを押します

言語によってはコード番号しか表示されないものもあります。詳しくは言語コード表（94ページ）をご覧ください。

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国／地区コード表

国名／地区名 , **入力コード , 国／地区コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて表示の明るさを、明るい設定（Light）と暗い設定（Dark）に切り換えることができます。ディマー機能といいます。お買い上げ時は、明るい設定（Light）になっています。

1. MD メニュー / 設定ボタンを押します

2. ⇦ ⇨ で "Dimmer" を選んでから、決定ボタンを押します

Dimmer

3. ⇦ ⇨ でお好みの明るさを選びます

明るくするときは、"Light" を選びます。

Light

暗くするときは、"Dark"を選びます。

Dark

4. 決定ボタンを押します

ボリュームの設定をかえる

最小音量値から最大音量値までのボリュームの変化ステップ量が 50 ステップのノーマルモードと、80 ステップのファインモードとがあります。
お買い上げ時は、ノーマルモードになっています。ファインモードにすると、小さな音量のときに微調整がしやすくなります。

1. 電源 ⏻ ボタンを押して、電源をオフにします

2. MD メニュー / 設定ボタンを押します

3. ⇦ ⇨ で "Volume Mode" を選んでから、決定ボタンを押します

Volume　Mode

4. ⇦ ⇨ でボリュームの設定を選びます

ノーマルモードのときは、"Normal" を選びます。

Normal

ファインモードのときは、"Fine" を選びます。

Fine

5. 決定ボタンを押します

この設定を変えると、ボリューム値は、"MIN"にリセットされます。ファインモードの設定時にボリュームを操作すると表示窓に

Volume [F] 10

と表示されます。
(ボリューム 10 を設定した例)

時計の表示モードをかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切り換えることができます。お買い上げ時は、12 時間表示になっています。

1. 電源

電源⏻ボタンを押して、電源をオフにします

2. MDメニュー/設定

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨で"Hour Format"を選んでから、決定ボタンを押します

Hour Format

4.

ST＋

⇦ ⇨ でお好きな表示を選択します

12 時間表示

12–Hour

24 時間表示

24–Hour

5. 決定

決定ボタンを押します

外部機器と接続する

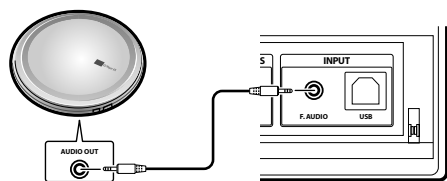
本機には、外部機器の接続用の端子として、本体後面部にアナログ入出力端子と光デジタル出力端子があります。また、本体前面部にはアナログ入力端子とUSB入力端子があります。

本体前面部のFRONT IN端子でアナログ接続する場合

ポータブルCDプレーヤーやMDプレーヤーなどのアナログ出力端子のある機器を、前面部のF. AUDIO端子に接続することができます。
F. AUDIO端子に接続すると入力は自動で「F. Audio In」に切り換わります。

接続のしかた

本機の**F. AUDIO端子**と接続機器のアナログ出力端子やヘッドホン出力端子を、市販のステレオミニケーブルで接続します。

ポータブルCDプレーヤーなど

メモ

▼ 外部機器のヘッドホン出力端子と接続しているときは、外部機器の音量調節によって本機のスピーカーから聞こえる音量が変わります。

注意

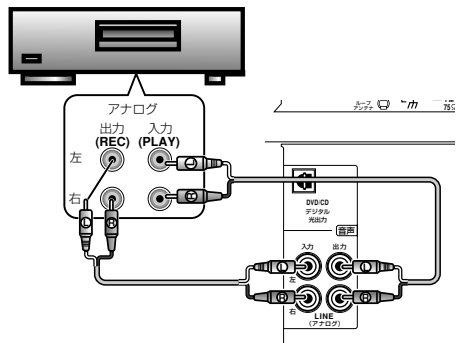
◆ MDに録音しているときは、**FRONT IN端子**に接続しても入力は「F. Audio In」に切り換わりません。

本体後面部のLINE端子でアナログ接続する場合

CD-R、MD、カセットデッキなどのアナログ入出力端子のある機器を、本機に接続することができます。接続した機器を本機で聞いたり、本機のMDで録音したりすることもできます。また、接続した機器で本機のMDなどの音声を録音することができます。

接続のしかた

本機の**LINE（アナログ）入力端子**と接続機器のアナログ出力端子、本機の**LINE（アナログ）出力端子**と接続機器のアナログ入力端子とを、それぞれ市販のオーディオコードで接続します。
• 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

カセットデッキなどの機器

本機で聞くには

INPUT

INPUTボタンを押して"Line"を選びます

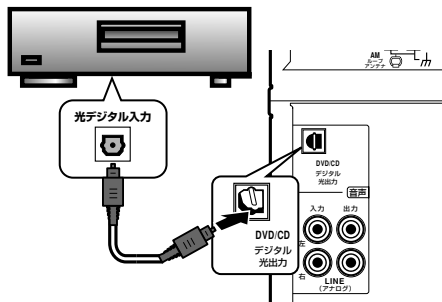
押すたびに"Line"と"USB"と"F. Audio In"が切り換わります。

デジタル出力接続する場合

AV アンプと接続して、本機で再生しているDVD の音声をマルチチャンネルサラウンドで楽しんだり、CD-Rなどと接続して本機のCDを録音したりすることができます。

接続のしかた

市販の光ファイバーケーブルで、本機の**DVD/CD デジタル光出力端子**と接続機器の光デジタル入力端子とを接続します。

- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル出力するには

DVD/CDボタンを押します

デジタル出力される音声は、

DVD-Video CD(R/RW) WMA/MP3 DivX の再生音です。

Q&A

Q ：**外部接続したデジタル機器にデジタル録音ができない！**

→ デジタル録音されたCD-R/RWを、さらに別のデジタル機器に録音することはできません。（110ページ参照）

→ 本機では、MDの音声はデジタル出力されません。本機で再生したMDを録音する場合は、アナログ接続から録音してください。

→ DVD-AUDIO SACD ではデジタル出力しません。

USB接続してパソコンと組み合わせて使う

本機前面部のUSB端子とパソコンを接続することで、パソコンに記録されている音楽データを本機を通して再生することができます。USB接続できるパソコンのOSは「Windows® XP」、「Windows® 2000」、「Windows® Millennium Edition」、「Windows® 98 Secound Edition」、「Windows® 98」のいずれかです。これ以外の動作は保証しません。

USBオーディオ再生するにはまず「ドライバーのインストール」を行います。ドライバーのインストールが完了したことを確認したあと、「USBオーディオを再生する」（100ページ）をご覧ください。

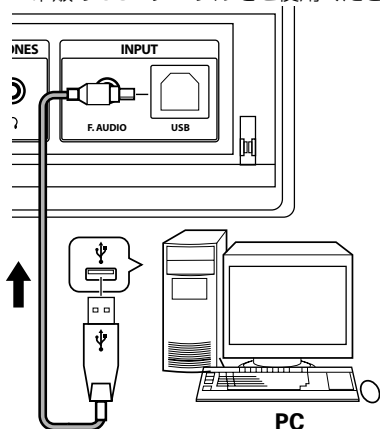
メモ

▼ パソコンによっては上記のOSがインストールされていても、動作が保証できない場合があります。

ドライバーのインストール

本機のUSB端子を使ってパソコンの音楽を再生するためには、ドライバーをインストールする必要があります。ドライバーはOSに標準添付されているものを使い、インストールの手順はパソコンの指示に従って行います。一度ドライバーをインストールすれば次回からインストールする必要はありません。OSによってはOSのCD-ROMが必要になる場合がありますので、お手元にご用意ください。

1. 本機のUSB端子とパソコンUSB端子を接続します

市販のUSBケーブルをご使用ください。

2. パソコンの電源を入れます

パソコンのOSが起動したあと、本機のUSBポートを自動検出します。このとき本機の電源はオフになっていても構いません。

3. OSの指示に従ってドライバーをインストールしていきます。

たとえば、「Windows® XP」をお使いの場合は、特に指示はなくすべて自動でインストールが行われますが、その他のOSをお使いの場合は、インストールの途中でダイアログボックスが表示されますので、その指示に従って操作していきます。ドライバーのインストールには数分かかります。
お使いのOSによっては、OSのCD-ROMが必要な場合があります。その場合は指示に従ってCD-ROMを入れてください。

メモ

- ▼ USBハブおよびUSB延長ケーブル経由で接続した場合の動作は保証しません。
- ▼ USBドライバーのインストールをしているときは、USBケーブルを抜かないでください。

ドライバーのインストールの確認

ドライバーのインストールが完了したあと、ドライバーが認識されているかどうかを確認します。

メモ

- ▼ 下記のパソコン操作については、一般的な操作方法を示しています。OSや設定によって操作や用語が異なる場合がありますので、ご了承ください。

1. 「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」を選びクリックします

コントロールパネルの画面が表示されます。

2. 「システム」のアイコンをダブルクリックします

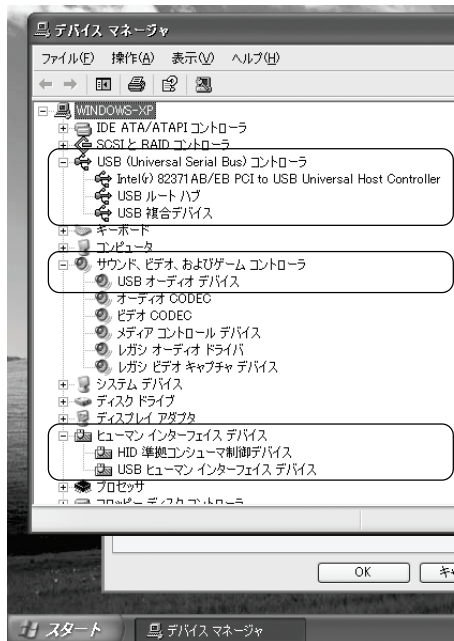
3. 「ハードウェア」のタブをクリックして、「デバイスマネージャ」を選びクリックします

「種類別に表示」が選択されていることを確認します。

4. 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の項目の中に「USBオーディオデバイス」が認識されていることを確認します

5. 「ヒューマンインターフェイスデバイス」の項目の中に「HID 準拠コンシューマ制御デバイス」および「USB ヒューマンインターフェイスデバイス」が認識されていることを確認します

6. 「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」の項目の中に「USB複合デバイス」が認識されていることを確認します

4-6 画面は Windows XP のものです。

メモ

▼ 上記のデバイスが認識されていない場合は、USB ケーブルを抜き差しして再度、デバイスドライバーがインストールされるか試してみてください。それでも認識されない場合は、パソコンを再起動してみてください。

USB オーディオを再生する

1. パソコンの電源を入れます

正常に起動するまでお待ちください。

2. 電源

電源ボタンを押して、電源をオンにします

3. INPUT

INPUTボタンを押して、入力を USB にします

USB

4. パソコン側で再生操作をします

本機に接続しているスピーカーからパソコンで再生している音楽の音が出ます。

5. 本機で音量を調節します

パソコンでの音量調節も必要です。

メモ

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- USB オーディオ再生しているときは、本機の電源を切ったり、入力を切り換えたりしないでください。パソコンの誤動作の原因になることがあります。
- USBオーディオ再生中は、USBケーブルを抜かないでください。USB ケーブルを抜くときはパソコンで再生中の音楽ソフトを閉じてから抜いてください。
- パソコンのビープ音はUSBオーディオ再生していると本機のスピーカーからも出力されます。ビープ音を出したくないときはパソコン側で設定を行ってください。
- パソコンの使用環境によっては、音が途切れたり、ノイズが発生することがあります。
- 本機前面部のUSB端子に入力された音声信号はリアパネルのDVD/CDデジタル光出力からは出力されません。
- 再生中は他のアプリケーションを使用しないでください。ノイズが入ることがあります。
- 本機のUSB部分は、USBバスパワード動作しています。よって、本機の電源がオフでも、パソコンの電源がオンの場合、パソコンは本機を認識しています。本機以外の音源を使用したい場合は、必要に応じてパソコンの音源の設定を変更してください。
- 本機からUSB経由でパソコンへ音を転送することはできません。

外部機器音声の歪みを減らす

本体後面部のLINE（アナログ）入力や本体前面部のF. AUDIO入力に接続した機器を本機で聞くときに、歪んでいるように感じられる場合があります。これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンにすると改善されることがあります。
設定すると表示部に "Line ATT" または "F. Audio In ATT. On" と表示します。

1. 電源

電源⏻ボタンを押して、電源をオフにします

2.

MD メニュー / 設定ボタンを押します

3.

⇦ ⇨ で設定したい入力を選んで、決定ボタンを押します

後面部 LINE 入力を選んだとき

Line ATT.

前面部 LINE 入力を選んだとき

FA In ATT.

4.

⇦ ⇨ で "ATT. 6dB" を選びます

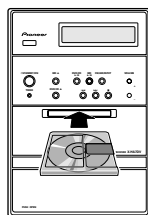
"ATT. 6dB"、"ATT. Off" が切り換わります。

5.

決定ボタンを押します

外部機器を MD に録音する

MD にマニュアル操作で録音をします。

1. **録音用MDをセットします**

ラベルを上にして MD の矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. **INPUTボタンを押して、録音する外部機器の再生の準備をします**

接続のしかたについては、97、98 ページを参照してください。

3. **REC/STOP ボタンを押します**

REC
/STOP

録音を開始します。
"REC" が点灯します。

4. **録音する機器の再生を開始します**

録音を途中で止めたいときは

REC
/STOP

REC/STOP ボタンを押します

メモ

▼ この方法で録音するときに、LP2 または LP4モード（32ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。

DVD-R ディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-Rディスクを再生することができます。
- MP3/WMA/JPEG が記録された DVD-R を再生することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-Rディスクを再生することはできません。

DVD-RW ディスクの再生について

- 本機は DVD ビデオフォーマット、または VR モードで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWディスクに録画することはできません。
- MP3/WMA/JPEG が記録された DVD-RW を再生することはできません。
- ファイナライズしていない DVD ビデオフォーマットの DVD-RW ディスクを再生することはできません。
- DVD レコーダーで編集(シーン消去など)をした箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬映像が止まります。これは故障ではありません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVD ビデオフォーマット記録、および VR モードでの記録については113 ページもあわせてご覧ください。
VR モードで記録できるディスクは DVD-RW だけです。また、VR モードで記録されたDVD-RWを本機にセットすると「DVD-RW」と表示されます。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽 CD フォーマット、ビデオ CD フォーマット、MP3やWMAの音楽データ、または JPEG の静止画像が記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet、Romeo)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または 48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション(114 ページ)には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 1 枚のディスクに最大 299 フォルダーまで、各フォルダーごとにフォルダーとトラックの数の合計で648まで認識・再生できます。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

WMA の再生について

- 外装箱に印刷された、Windows Media™ のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。
WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7, 7.1, Windows Media Player for Windows XP、またはWindows Media 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding)には対応していません。
- DRMコピープロテクト（保護）のかかったWMAファイルは再生できません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション（114ページ）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 1枚のディスクに最大299フォルダーまで、各フォルダーごとにフォルダーとトラックの数の合計で648まで認識・再生できます。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

JPEGの再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、フジカラーCD、コダックピクチャーCD、またはCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が3072×2048ピクセル以下のベースラインJPEGファイル、およびExif 2.2*4（115ページ）に準拠したJPEGファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
- フォルダー名、ファイル名のアルファベット順に、1枚のディスクに最大299フォルダーまで、各フォルダーごとにフォルダーとトラックの数の合計で648まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、ファイルが認識・再生できない場合があります。
- プログレッシブJPEGには対応していません。
- ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

*4 *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif)Ver2.2、JEIDA-49-1998 (社)電子情報技術産業協会 JEITA*

DivXの再生について

- 本機はDivX®に正式認証された製品です。
- DivXとはDivXNetworks, Inc.のDivX®ビデオコーディング方式によるデジタルビデオ圧縮技術です。
- 本機ではCD-R/RW/ROMディスクに記録されたDivXファイルを再生することができます。
- DivXファイルはDVDビデオのようにファイルを「タイトル」と呼びます。DivXファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、CD-R/RWに記録する際はタイトル名のつけ方にご注意ください。
- DivX®規格に準拠したDivX®5、DivX®4、DivX®3、DivX® VODビデオフォーマット(コンテンツ)を本機で再生することができます。
- 「.avi」または「.divx」という拡張子がついたDivXファイルのみ再生することができます。「.avi」という拡張子はMPEG4に準拠していますが、MPEG4の中でもDivXファイルでない場合があります。その場合は本機では再生することができませんのでご注意ください。
- DivX、DivX Certified、およびそれらの関連ロゴはDivXNetworks, Inc.の登録商標であり、ライセンス契約に基づく使用許可を受けています。

注 意

- ◆ レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RW ディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- ◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ◆ パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ◆ ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。
- ◆ 詳しいCD-R/CD-RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています(DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません)。
DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

トラックについて

CDやビデオCDでは、ディスクをトラックという単位で分けています（一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。

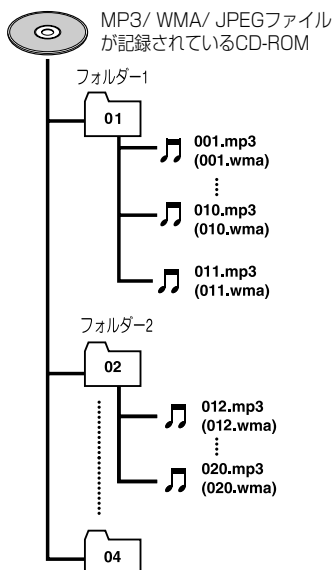
DVD オーディオのグループとトラックについて

- ディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。ＤＶＤ ビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

ビデオ CD/SACD/CD のトラックについて

- ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。

WMA/MP3/JPEG について

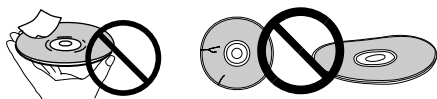
WMA/MP3のフォルダー/トラックの名前や、JPEG のフォルダー / ファイルの名前を表示することができます(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー / トラック / ファイルの名前は[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

DVD/CDディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

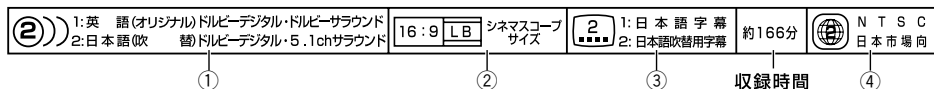
本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形など）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、**「保証とアフターサービス」**（123ページ）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

DVDのディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVD ビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例

① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切り換えは、50 ページをご覧ください)。
上記の場合本機では、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は 5.1ch サラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されており、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(88 ページ)。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切り換えは、49 ページをご覧ください)。
DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は２番で、ディスクに記載された地域番号が２番を含むか**「ALL」**となっている場合に再生が可能です。

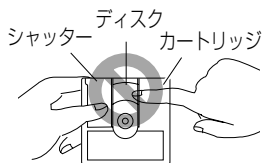
その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVD ビデオでは、最大９つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVD ビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(50 ページ)。

メ モ

▼ DVD-Video の音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の３つが現在主流となっています。（113 ～ 115 ページの用語解説を参照）

⚠ 注意

・ディスクに直接触れないでください。
・シャッターを無理に開けるとこわれます。
・分解しないでください。

右記マークのディスクをお使いください。

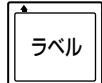
MDとは

- 直径64mmのディスクをカートリッジに収めたもので、ホコリに強く、キズも付きにくいなどCDに比べ取り扱いが簡単です。
- 録音や再生はデジタル方式ですので、CDに迫る高音質を再現します。また、テープのようにからんだり、伸びたりすることがなく、音質も劣化せず耐久性に優れています。

MDの種類について

再生専用と録音・再生用があります。

■再生専用MD（録音はできません）

CDと同じ光ディスクを使っています。

シャッターが裏面にあります

■録音・再生用MD

光磁気ディスクを使っているので、繰り返し録音することができます。

シャッターが両面にあります

保管

- ケースに入れて保管してください。
- 次のようなところには保管しないでください。
  - 高温多湿の場所
  - 直射日光が当たる場所
  - 砂やホコリの入りやすい場所

カートリッジのお手入れ

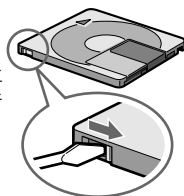
乾いた布でホコリや汚れを軽く拭き取ってください。

ラベルの貼り付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MDが取り出せなくなります。

- 指定の場所(エリア内)に貼ってください。
- 重ねて貼り付けないでください。
- ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼り替えてください。

録音したMDを誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。

再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。

TOC(トック)が記録されています

曲や音声と共に、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として（TOC:Table of Contents）が記録されています。
したがって、再生や編集をするときには、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報としてTOCを手がかりに動作しています。
ですからMDで曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC情報もディスクに記録しますし、TOC情報を書き換えたりもしています。

MD録音とテープ録音の違い

- MDは片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる残り時間が確認できます。

TOCを記録するときの注意

TOCの記録中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しく再生できない場合があります。
- TOC記録中は、以下の表示をします。

TOC Write

TOCはいつMDに記録される？

- **MD▲ ボタン**を押したとき
- 電源を切ってスタンバイ状態になるとき
- 録音を停止したとき
- 編集後に再生を停止したとき

録音中に停電すると

MDへの録音中に、電源スイッチを切ったり電源コンセントが抜けたり停電があった場合は、その時の録音内容はすべて消えてしまうことがあります。
すでに録音しているMDに追加して録音していた場合は、追加していた部分が消えてしまいます。

MDに録音できない場合

- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき
- MDが誤消去防止状態になっているとき
- MDの録音可能時間が残っていないとき
- "Disc Full" が表示されたとき
- TOCが異常のとき

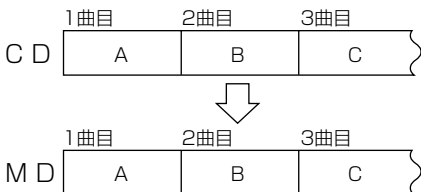
LP2、LP4録音について

本機でLP2、LP4モードで録音した曲は、MDLP対応機器以外では再生できません。
LP4モードでの録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。
音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2モードでの録音をお勧めします。

曲番号について

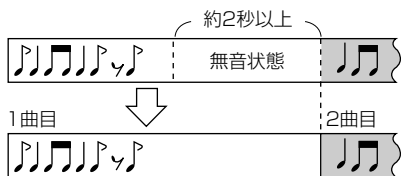
MDに曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。追加録音したときは、順に曲番号が大きくなります。

CDをデジタル録音したとき

CDなどについている曲番号と同じ所に、1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし4秒以下の曲がある場合などは、CDの曲番号と録音したMDの曲番号が一致しないことがあります。

FM・AM放送を録音したとき

1回の録音内容を1曲として曲番号がつきます。

FM ・AM 放送以外のアナログ録音のとき

２秒以上の無音部分があると曲間と判断し、次に音が入力されたときに、曲番号が自動的につきます（オートマーク機能）。

- 信号に雑音があるときなど､録音する内容によっては､正しい位置に曲番号がつかないこともあります。

アナログ録音したMDからデジタル録音したとき

MDなどについている曲番号と同じところに１曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし､2秒以下の曲があるときなどは、録音もとのMDと録音したMDの曲番号が一致しないことがあります。

デジタルコピーに関するご注意

デジタルオーディオ（CD、MD、CD-R、衛星デジタル音楽放送など）では、音声信号をデジタル信号でやり取りすることができます。
アナログ信号と違いデジタル信号でのやり取りでは、音楽を劣化の少ない状態で録音することが可能なために、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要となりました。
それが､シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)で､デジタル信号による録音を｢何世代まで｣と規制している方式です｡概要は､以下のとおりです。

1 デジタル録音されたものを、さらに別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へデジタル録音することはできない。

2 アナログ録音されたものは、別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へ1度だけデジタル録音することができる。

注 意

◆ アナログ録音をする場合は､シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)は関係ありません。

CD(CD-R/CD-RW)のアナログ録音とデジタル録音を切り換える

CD(CD-R/CD-RW)から MD へ録音する場合、デジタル録音とアナログ録音とを切り換えることができます。たとえば、CD-R からの録音で "Can' t REC" と表示が出て録音できない場合は、アナログ録音に切り換えてから録音します。

1. CD(CD-R/CD-RW)をセットします

CD(CD-R/CD-RW)以外のディスクをセットすると、アナログ録音固定となり操作することできません。

2. CDが再生中のときは、■ボタンを押します

3. MD メニュー / 設定ボタンを押します

4. ⇦ ⇨ で "Input Sel." を選んでから、決定ボタンを押します

Input Sel.

5. ⇦ ⇨を押して、デジタルかアナログかを選びます

- デジタル録音（お買い上げ時）

Digital

- アナログ録音

Analog

6. 決定ボタンを押します

アナログ録音に設定すると、表示部から "DIGITAL" が消灯します。

その他

13

MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状が出ることがあります。
これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MD の最大録音時間になっていないのに "Disc Full"（ディスク フル）が表示されることがある。	MD では、TOC に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大（255曲）になっていなくても、TOC（トック）の情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 （このような MD は、不要なトラックを消去するか全曲イレース機能を行えば、使用できます。） ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12 秒以下（通常のステレオ録音で録音時）の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MD に録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1クラスタ(通常のステレオ録音で約2秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約２秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
残り再生時間や総再生時間が、実際の再生時間と一致しないことがある。	計算処理の制約により、誤差が生じる場合があります。
編集で曲と曲とをつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行ったMDでは、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは４：３ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース(飛び越し走査)
映像の１画面を半分ずつ２回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて１画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525iなど)表記します。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して１本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しない限り再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

ドルビーデジタル *[1]
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）で記録されているソフトとは、５つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことをいいます。

*[1] *ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。*

VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。そのあと、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアのDVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、標準な画質で録画するモードと画質、および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の１画面を２回に分けずに１画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像を楽しめます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525pなど)表記します。

ボーナスグループ
DVDオーディオでは、４桁の番号(キーナンバー)を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っていますので、視聴者側で視点(カメラ)を選ぶことはできません。DVDビデオには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDビデオではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語

DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション

CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニアPCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録したDVDビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHzなどの表示があることもあります。

D端子

デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y、C_B/P_B、C_R/P_R)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DivX

DivXとはDivXNetworks, Inc.のDivX® ビデオコーディング方式によるデジタルビデオ圧縮技術です。「.avi」または「.divx」という拡張子のついたファイルをDivXファイルとよびます。

DRMコピープロテクト

DRM(Digital Rights Management)コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限するなどの機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

DTS

DTSとはデジタルシアターシステム(Digital Theater Systems)の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。

*[*2] "DTS"、及び"DTS 2.0+ Digital Out"は米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc.の実施権に基づき製造されています。*

DVDオーディオ/ビデオの静止画

DVDには、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVDオーディオの静止画には2種類あります。
スライドショーは、ディスクの設定に従って自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。なお、DVDビデオの静止画はスライドショーのみです。

DVDビデオフォーマット記録

、またはマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアのDVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、

高画質で録画するモードと、長時間で録画するモードがあります。

Exif

Exchangeable Image File Formatの略でエグジフと読みます。富士写真フイルムが開発したデジタルスチルーカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA規格)。撮影日などの撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

F-Disc（エフディスク）

8mm フィルムで撮った映像を DVD ディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：
(株) フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

JPEG

JPEG とは、ITU-TS(国際電気通信連合: 旧CCITT)と ISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子が付きます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんど JPEG 形式で保存されています。

MP3

MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー３というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。拡張子とは、OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

MPEG

Moving Picture Experts Group の略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

SACD

CD の規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACDには１層ディスク、２層ディスクとハイブリッドディスクの３種類があります。ハイブリッドディスクは、SACD と CD の両方の構造を持ちあわせています。

S1 映像出力

S1 とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入ったＳ映像信号です。

S2 映像出力

S1 に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入ったＳ映像信号です。S2 対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

WMA

「Windows Media™ Audio」 の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.8またはWindows Media Player for Windows XP を使用してエンコードすることができます。
Windows Media、Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

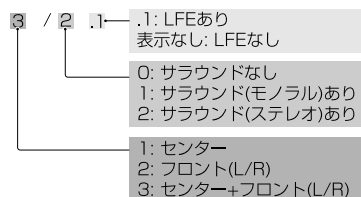
3/2.1CH

3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表しています。

例）5.1CH の場合

- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE *1 チャンネル[1CH × 0.1 *2 = 0.1CH]

*1 重低音強調効果の意
*2 音声全体に対して低音が占める割合

テレビ画面には下記のように表示されます。

故障かな?と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビなどもあわせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
	すべてに共通	
音が出ない。	• 電源コードが外れています。電源コードを正しく接続してください。 • すべてのコードが完全に接続されていません。「本機の接続を行う」を参照して、正しく接続してください。	**13** **10-14**
音量を調節しても音がなかなか小さくまたは大きくならない。	• ボリューム設定が“Fine”になっています。ボリューム設定を“Normal”にしてください。	**95**
スピーカーからノイズが出る。	• 本機の近くで携帯電話を使用すると、ノイズが出ることがあります。本機から離れてご使用ください。	
	DVD/CD 関係	
設定した内容が消えてしまった。	• 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず⏻**電源ボタン**を押して、表示窓の[See you!]表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。	
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	• ■ **ボタン**を押してから、もう一度再生してください。	
スピーカーから音が出ない。	• ディスクが汚れていませんか？ • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？	
DVDとCDで音量差を感じる。	• ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
外部機器として接続したAVアンプなどから音が出ない。	• 本機の音声出力端子、または接続したAVアンプなどの音声入力端子に音声ケーブルが正しく差し込まれていますか？または、外れていませんか？ • オーディオ·ビデオコード(赤/白)のプラグや本機の音声出力端子、または接続したAVアンプなどの音声入力端子が汚れていたら拭いてください。 • **[デジタル音声モード]**の設定により、音が出ないことがあります。 • **[リニア PCM出力]**の設定が**[ダウンサンプル オフ]**になっていませんか？リニアPCM音声の96kHzデジタル出力を禁止しているディスクがあります。 • 接続したAVアンプなどの音量が最小になっていませんか？ • 本機とDTS音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは**[DTS出力]**の設定を**[DTS>PCM]**にしてください。ノイズが発生することがあります。 • DTS音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときは、アンプの設定、およびデジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	**97-98** **97-98** **87** **87** **87** **98**
映像が映らない。	• プログレッシブ入力に対応していないテレビとD映像接続しているときに**[プログレッシブ]**を選択すると映像が正常に出力されません。**[インターレース]**に切り換えてください。	**88-89**
画面が縦または横に伸びている。	• 接続したテレビに合わせて**[テレビ画面]**の設定をしてください。	**88**
DVD再生中に画像が乱れる、または暗い。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、画像の一部に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	**11**
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	• ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
DVD-AUDIO のマルチチャンネルソースを再生するとセンターとサラウンドの音が聞こえない。	• ディスクによってはマルチチャンネルから2チャンネルへの変換を禁止しているものがあります。この場合、本機の出力にはフロントのみが出力され、センター、サラウンドの音を聞くことはできません。このような時はステレオソースを選んでください。	

症状	原因 / 対策	参照ページ
MD 関係		
録音ができない。	• MD が誤消去防止状態になっています。誤消去防止ツマミを閉じてください。 • 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしていませんか。新しい録音用 MD と交換してください。 • Disc Full になっています。不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD と交換してください。	108 109
2 倍速録音ができない。	• アナログ録音設定になっています。デジタル録音設定に切り換えてください。	111
モノラルで録音されてしまう。	• モノラル長時間モードになっています。長時間録音モードを通常のステレオ録音にしてください。	32
MD を入れても “No Disc” や “Error” が表示される。	• ディスクにキズが付いています。新しい MD に交換してください。	
再生音がとぎれる。	• 振動の多い不安定な場所で使用していませんか？平らな安定した場所に移し変えてください。 • 結露現象が起きています。 1 時間ほど放置してから使用してください。	122 122
録音したときに音が歪む。	• LINE入力信号が大きすぎます。入力アッテネーターを **“ATT. 6dB”** にしてください。 • 録音レベルが大きすぎます。デジタル録音レベルを小さくしてください。	102 57
録音したときに音が小さい。	• 録音レベルが小さすぎます。デジタル録音レベルを大きくしてください。 • 入力アッテネーターが **“ATT. 6dB”** になっています。入力アッテネーターを **“ATT. Off”** にしてください。	57 102
グループ機能が使えない。	• グループディスクと認識されていません。または、グループ機能がない機器でディスク名を変更しています。ディスク名を消去してグループを登録し直してください。	70
本機でMDLP録音した MD が他の機器で再生できない。	• 再生しようとしていた機器が、MDLP 対応ではありません。MDLP で録音した MD は、MDLP 対応機器で再生してください。	
2 つの曲をつなぐこと（コンバイン)ができない。	• デジタルとアナログで録音された曲をつなごうとしています。デジタル（アナログ）で録音された曲はデジタル（アナログ）録音された曲どうしをつないでください。 • MDLP で、違う録音モードで録音した曲どうしをつなごうとしています。MDLP の同じ録音モードで録音した曲どうしをつないでください。	 32

症状	原因 / 対策	参照ページ
MD に録音時、表示窓に”Protected DVD-A”と表示され録音停止した。	• 録音禁止の曲です	
MD に録音時、表示窓に”Protected CD”と表示され録音停止した。	• DVD-AUDIO を録音したCD-RからMDに録音しようとした場合、曲によって録音できないことがあります。	
放送関係		
放送が聞こえない、聞こえにくい。	• アンテナが接続されていません。アンテナを正しく接続してください。 • アンテナの向き、位置が悪くなっています。アンテナの向きや位置を調整してください。 • 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用していませんか？雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	**10, 12, 14** **12**
放送がステレオなのにステレオにならない。	• 表示部の“○”（モノラルインジケーター）が点灯していませんか？FM放送の受信設定をAutoにして、“○”を消灯してください。	**35**
その他		
タイマーが作動しない。	• 現在時刻の設定がされていません。現在時刻を設定してください。	**26**
リモコンが効かない。	• リモコンの電池がなくなっています。新しい電池にかえてください。 • 電池のプラスとマイナスの向きを間違えてリモコンに入れていませんか？正しく入れてください。 • 蛍光灯がリモコン受光部の近くにあります。蛍光灯をリモコン受光部から離してください。	**5** **5** **20**
テレビなどが誤動作する。	• ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
LINE に接続した機器からの音が歪む。	• 接続した機器からの出力レベルが大きくなっています。入力アッテネーターを“ATT. 6dB”にしてください。	**102**
タイマーインジケーターが点滅して電源が入らず、何の操作もできない。	• タイマーインジケーターが点滅しているときは、お近くのサービスステーションに連絡してください。	

• 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

ディスクテーブルの開閉ができないとき

[本体表示部] Tray Lock

DVD/CD▲ ボタンを押したときに上記の表示が出た場合、**DVD/CD▲ ボタン**を８秒以上押して「**Lock Off**」を表示させると、ディスクテーブルを開閉することができます。

設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻す(初期化)

1. **⏻STANDBY/ON ボタンを押して、電源をオフにします**

あらかじめディスクは取り出しておきます。

2. **本体の■ボタンを８秒間押し続けます**

■

以下のように表示されます。

Mem. Clr?

3. **本体の DVD/CD▶/II ボタンを押します。自動的に電源がオンになり、設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります**

DVD/CD
▶/II

注 意

◆ 初期化すると、記憶していたすべてのメモリーが同時に消去されます。初期化するときは十分にご注意ください。
◆ HCMSメモリ(31ページ)は初期化されません。

DVD の初期設定一覧

初期設定

視聴制限のお買い上げ時の設定は、暗証番号未設定、レベル変更オフ、国／地区コードは日本の設定となっています。

こんな表示が出たときは

下の項目をチェックしても直らないとき、下記以外の表示が出たときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	意味	このようにしてください
Blank Disc	音楽が何も記録されていない。	再生する時は、録音されたMDと取りかえる。
Can' t REC	ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。 CD-Rなど録音禁止処理されているCDをMDに録音しようとした。	録音をやり直すか、MDを交換してください。 録音禁止処理されていないCDに取りかえてください。
Can' t Edit	編集できない。	もう一度、操作した項目の注意文やメモなどを見直してください。
No Disc	MDが入っていない。 MDのデータが読めない。	MDを入れてください。 MDをもう一度入れ直してください。
Disc Full	MDに録音できる空きがない。	他の録音用MDと取りかえてください。
Name Full	ディスク、曲名、グループ名の合計が1700文字を超えている。 ディスク、曲名または、グループ名が100文字を超えている。	ディスク名／曲名／グループ名を短くする。 ディスク名／曲名／グループ名を短くする。
Premasterd	再生専用MDに録音や編集をしようとした。	録音用MDと取りかえる。
Protected	MDが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止状態をもとに戻す。
Disc Error TOCRead Err	ディスクにキズがついている。 記憶されているTOC情報がMDの規格に合ってなかったり読めない。	MDをもう一度入れ直してください。 他のMDと取りかえる。または、オールイレースをしてから録音をやり直してください。
Mecha Error TRK. Protect	MDが正しく働いていない。 該当するトラックにライトプロテクトがかかっている。	電源を切ってから再度電源を入れる。 MDを取りかえる。
Retry Error	ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	録音をやり直すか、MDを交換してください。
Can't REC THIS	CDのディスクの残り時間を表示しているときはREC THISの操作はできません。	他の表示に切り換えてから、REC THISボタンを押してください。
Recording	MDの録音中はF. AUDIO端子に外部機器を接続しても自動的にF. AUDIOファンクションに切り換わりません。	MDの録音が終了したあと、INPUTボタンを押してF. AUDIOファンクションに切り換えてください。
Protected DVD-A	一部または全ての曲の録音が禁止されているDVDオーディオディスクをMDに録音しようとした。	左記のようなディスクはMDに録音することができません。
Protected CD	DVDオーディオディスクから録音したCD-RをMDに録音しようとした。	左記のようなCD-Rは曲によっては録音できないことがあります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど､熱を発生する機器の上にのせないでください｡ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため､アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**(またはリモコンの⏻ **電源ボタン**) を押し、表示窓の[See You!]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常､柔らかい布で空拭きしてください｡汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷､塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも､キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は､化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は､電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり､本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず､再生ができません。結露の状態にもよりますが､本機の電源を入れて1～2時間放置し､本機の温度を室温に保てば水滴が消え､再生できるようになります。
  夏でもエアコンなどの風が､本機に直接あたると結露が起こることがあります｡その場合は本機の設置場所を変えてください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、別添の修理受付センターにご相談ください。
所在地、電話番号は裏表紙の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

116～119ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD/MDミニコンポーネントシステム
- 型番：X-HA7DV-W/-K
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

DVD/MD RECEIVER部

アンプ部

実用最大出力(JEITA4Ω) .... 25W+25W

FMチューナー部

受信周波数
.... 76.0〜90 MHz、TV1, 2, 3 ch音声
アンテナ .... 75 Ω不平衡型

AMチューナー部

受信周波数 .... 522 kHz〜1,629 kHz
アンテナ .... ループアンテナ(付属)

DVDプレイヤー部

周波数特性 (音声) .... 4 Hz〜44 kHz
(96 kHzサンプリング)
.... 4 Hz〜22 kHz
(48 kHzサンプリング)

映像出力：
出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
出力端子 .... RCA端子

S映像出力：
Y出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
C出力レベル .... 286 mVp-p(75Ω)
出力端子 .... S端子

D1/D2映像出力：
Y出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
C_B/P_B、C_R/P_R出力レベル
.... 0.7 Vp-p(75Ω)
出力端子 .... D端子

ミニディスク部

記録方式 .... 磁界変調オーバーライト式
再生方式 .... 非接触光学式
サンプリング周波数 .... 44.1 kHz

電源部

電源電圧 .... AC 100V, 50/60Hz
消費電力(電気用品安全法) 69W
待機時消費電力 0.065W

その他

外形寸法 .... 170×252×321.4 mm
(幅)×(高さ)×(奥行)
本体質量 .... 5.7 kg

スピーカーシステム部

型式 .... バスレフ式 ブックシェルフ型、
防磁設計(JEITA)
使用スピーカー
ウーファー .... 10 cm（コーン型）
ツィーター .... 2.6 cm（セミドーム型）
公称インピーダンス .... 4 Ω
再生周波数帯域 .... 50 〜 60.000 Hz
最大入力 .... 25 W（JEITA）
外形寸法 .... 140 × 250 × 253 mm
（幅）×（高さ）×（奥行）
本体質量 .... 2.5 kg

付属品

保証書 1
取扱説明書 1
簡単ガイド 1
FM 簡易アンテナ 1
AM ループアンテナ 1
リモートコントロールユニット(リモコン) 1
単３形乾電池（AA/R6P） 2
滑り止めパッド＊ 1
電源コード 1
ビデオコード 1

＊ スピーカー部と一緒に梱包されています。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
お問合わせ先：
社団法人 私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号
東京オペラシティタワー 11F
電話（03）5353 – 0336
FAX（03）5353 – 0337

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機では、画面表示に NEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。
Font Avenue は NEC の登録商標です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

音のエチケット

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、本取扱説明書の裏表紙の修理受付センターでお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービスステーションでお受けします。）
記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込み希望のお客様は、修理受付センターにご確認ください。

北海道地区
受付 月～金 9:30～18:00 (土･日･祝･弊社休業日は除く) 太字の拠点は､土曜も受付 9:30～12:00､13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

札幌サービスセンター	**FAX 011-611-5694**	**〒064-0822**	**札幌市中央区北2条西20-1-3クワザワビル**
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町１条１丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

東北地区
受付 月～金 9:30～18:00 (土･日･祝･弊社休業日は除く) 太字の拠点は､土曜も受付 9:30～12:00､13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

仙台サービスステーション	**FAX 022-375-4996**	**〒981-3121**	**仙台市泉区上谷刈石田20**
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
盛岡サービスステーション	FAX 019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1
郡山サービスステーション	FAX 024-934-6566	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25 クレールアヴェニュー伊藤第2ビル

関東･甲信越地区（1）
受付 月～土 9:30～18:00 (日･祝･弊社休業日は除く)

世田谷サービスステーション	FAX 03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
墨田サービスステーション	FAX 03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原4-27-9中島ICハイツ1F
城北サービスステーション	FAX 03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸4-11-4
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1エクセル立川１F

関東･甲信越地区（2）
受付 月～金 9:30～18:00 (土･日･祝･弊社休業日は除く) **太字**の拠点は､土曜も受付 9:30～12:00､13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

新潟サービスステーション	FAX 025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店 横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
千葉サービスセンター	**FAX 043-207-2555**	**〒263-0014**	**千葉市稲毛区作草部町1369-1椎の実ハイツ1F**
つくばサービス認定店	FAX 0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
埼玉サービスセンター	**FAX 048-651-8030**	**〒331-0812**	**さいたま市北区宮原町1-310-1**
川越サービス認定店	FAX 049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17パサージュ808伊勢崎101号
神奈川サービスセンター	**FAX 045-943-3788**	**〒224-0037**	**横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1ベルデユール茅ヶ崎**
横浜北サービス認定店	FAX 045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
厚木サービス認定店	FAX 046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田339-1金田コーポフロンテア201
三宅島サービス指定店 勝見電機	TEL 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービスステーション	FAX 0263-48-2768	〒390-0852	松本市大字島立180-5
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

中部地区

受付 月〜金 9:30〜18:00 (土･日･祝･弊社休業日は除く) **太字**の拠点は、土曜も受付 9:30〜12:00、13:00〜18:00 (弊社休業日は除く)

名古屋サービスセンター	**FAX 052-532-1148**	**〒451-0063**	**名古屋市西区押切2-8-18**
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1大和ビレッジ B-1
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービスステーション	FAX 054-237-5691	〒422-8034	静岡市高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町415ビラモデルナ5号
金沢サービスステーション	FAX 076-269-4758	〒920-0362	金沢市古府1丁目178
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

関西地区

受付 月〜金 9:30〜18:00 (土･日･祝･弊社休業日は除く) **太字**の拠点は、土曜も受付 9:30〜12:00、13:00〜18:00 (弊社休業日は除く)

大阪サービスセンター	**FAX 06-6310-9120**	**〒564-0052**	**吹田市広芝町5-8**
大阪南サービス認定店	FAX 0722-75-2625	〒593-8322	堺市津久野町1-8-15 ローズマンション1F
大阪北サービス認定店	FAX 06-6453-5666	〒531-0076	大阪市北区大淀中3-9-4
奈良サービス認定店	FAX 0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
和歌山サービス認定店	FAX 0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービスステーション	FAX 075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2五条久保田ビル1F
福知山サービス認定店	FAX 0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74カマハチマンション
神戸サービスステーション	FAX 078-251-7173	〒651-0086	神戸市中央区磯上通り5-1-13
姫路サービス認定店	FAX 0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土4-2

中国地区

受付 月〜金 9:30〜18:00 (土･日･祝･弊社休業日は除く) **太字**の拠点は、土曜も受付 9:30〜12:00、13:00〜18:00 (弊社休業日は除く)

広島サービスステーション	**FAX 082-248-9939**	**〒730-0041**	**広島市中区小町2-30第二有楽ビル1F**
徳山サービス認定店	FAX 0834-33-5759	〒745-0006	徳山市花畠町3-11森広事務所1F
福山サービス認定店	FAX 0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
岡山サービスステーション	FAX 086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX 0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40 (有)テクピット内
鳥取サービス認定店	FAX 0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1

四国地区

受付 月〜金 9:30〜18:00 (土･日･祝･弊社休業日は除く)

高松サービスステーション	FAX 087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX 088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX 088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX 089-951-6270	〒791-8067	松山市古三津5-10-35商船ビル1F

九州地区

受付 月〜金 9:30〜18:00 (土･日･祝･弊社休業日は除く) **太字**の拠点は、土曜も受付 9:30〜12:00、13:00〜18:00 (弊社休業日は除く)

福岡サービスステーション	**FAX 092-412-7460**	**〒812-0016**	**福岡市博多区博多駅南2-12-3**
博多サービス認定店	FAX 092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX 095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10 クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX 096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX 097-549-2420	〒870-0851	大分市大石町5丁目1-1
北九州サービスステーション	FAX 093-951-1748	〒802-0011	北九州市小倉北区重住3-1-20
鹿児島サービスステーション	FAX 099-224-7692	〒892-0841	鹿児島市照国町3-21 第二大見ビル2F
宮崎サービス認定店	FAX 0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

沖縄地区(沖縄県のみ)

受付　月〜金　9:30〜18:00 (土･日･祝･弊社休業日は除く)

沖縄サービスステーション	TEL　098-879-1910 FAX　098-879-1352	〒901-2122	浦添市勢理客4-18-1トヨタマイカーセンター3F

平成17年2月現在

ご相談窓口　・　修理窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名 ②ご購入日 ③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

●パイオニアホームページ　：お客様サポート　http://www.pioneer.co.jp/support/index.html
（商品についてよくあるお問い合わせ・カタログの請求・メールマガジン登録のご案内など）

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、ＰＨＳ、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）
受付　月曜～金曜 ９：３０～１７：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ／ビジュアル商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口　フリーフォン ００７０－８００－８１８１－２２
一般電話　【一般電話】０３－５４９６－２９８６
●ファックス受付　０３－３４９０－５７１８

部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター
受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００（弊社休業日は除く）
電話（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）０１２０－５－８１０９５　ファックス（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）０１２０－５－８１０９６
一般電話　０５３８－４３－１１６１

修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）
受付　月曜～金曜 ９：３０～１９：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００（弊社休業日は除く）
電話（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）０１２０－５－８１０２８（ゴーパイオニア）　ファックス（ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ）０１２０－５－８１０２９
一般電話　０３－５４９６－２０２３

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
一般電話　０９８－８７９－１９１０　ファックス　０９８－８７９－１３５２

VOL.012

JIS C 61000-3-2適合品　D50-5-10-1_A_Ja

（JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。）

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<05C000001>　<XRA3029-A>